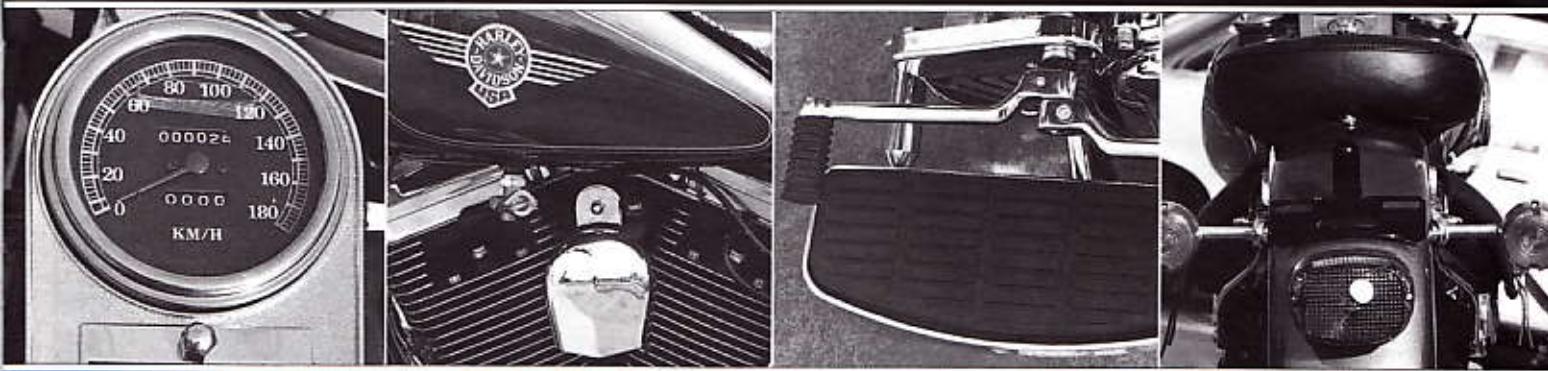


HARLEY-DAVIDSON®

FLSTF FAT BOY®



TAMIYA



1/6 オートバイシリーズ NO.29
ハーレーダビッドソン®
FLSTF フットボーイ®



TAMIYA PLASTIC MODEL CO.
3-7, ONDAWARA, SHIZUOKA-CITY, JAPAN.

HARLEY-DAVIDSON[®]

FLSTF FAT BOY[®]



広大なアメリカの大地をロングクルージング、あるいはカリフォルニアのビーチ沿いにあるストレートをゆったりと走る。そんな風景にぴたりとマッチするモーターサイクルと言えば、ハーレー・ダビッドソンをおいて他はないでしょう。

アメリカの風土にあった、まさにアメリカならではのモーターサイクルを生み出したハーレー・ダビッドソン。その歴史は古く、1901年、ミルウォーキーの2人の若者、ウイリアム・S・ハーレーとアーサー・ダビッドソンが、エンジン付きの自転車の製作を計画したことから始まります。その後アーサーの2人の弟、ウィリアムとウォルターも計画に加わることになったのですが、世界最初のモーターサイクルと言われるダイムラーの二輪車が走行に成功したのが1885年のこと。当時は頼りになる技術資料もほとんどなく、工具なども不完全、さらに資金も乏しいという状態の中で、新しいものを創り出すという夢にかられた4人は、約1年後その夢を実現させたのです。こうしてできあがった第1号車は、主要部品のほとんどが手作りで、エンジンは約410ccで最高出力約3馬力、ベルト駆動方式を採用し、キャブレーターはトマトの空き缶で作られ、点火プラグはドアの取っ手ほどもあったと言われています。そして彼らは1903年にダビッドソン家の裏庭にワークショップを建て、1906年にはミルウォーキーに本格的な工場を建設、1907年にハーレー・ダビッドソン・モーター・カンパニーを設立することになったのです。会社を設立した年の生産台数はすでに約150台を数え、その後も年々業績を伸ばすと共に、新技術の開発にも意欲的に挑戦。1909年には初のVツインエンジンモデルを発表、1912年にはクラッチメカニズム、1914年にはドラムブレーキ、2速ミッションなどを開発し、1915年には期的な3速ミッションの開発にも成功、ハーレーは技術力や品質の高さでも確固とした信頼を獲得するようになったのです。1900年代初頭、150以上あったアメリカのモーターサイクル・メーカーの中で、現在唯一のメーカーとなっているハーレー・ダビッドソン。その歴史はアメリカのモーターサイクルの歴史そのものと言ってもいいでしょう。

ハーレー・ダビッドソンのアイデンティティと言えばやはりVツインエンジンといえるでしょう。

1909年から生産されたモデル9-Eに搭載されたエンジンがハーレー初のVツインエンジン。排気量は811cc、最高出力7馬力を發揮する45度Vツインエンジンは、このモーターサイクルを時速60マイルまで引っ張ることが可能でした。1922年にリリースされたモデル22J-Dは、ハーレー初の排気量74キュービックインチ(1200cc)Vツインエンジンを搭載。吸込がオーバーヘッドバルブ、排気がサイドバルブというOHV(オホツバルブ)と呼ばれる方式を採用したこのエンジンにより、生産台数を飛躍的に向上したのです。1936年には排気量61キュービックインチ(1000cc)のハーレー初のOHVエンジンを搭載したELシリーズがデビュー。ロッカーカバーの形状が拳のように見えることから「ナックルヘッド」と呼ばれるこのエンジンは、第二次大戦後まで生産される大ヒットとなりました。1948年には油圧式バルブリフターとアルミ製シリンダーヘッドを持つ「パンヘッド」が登場。皿のようなヘッドカバーから呼び名がついたこのエンジンは、ナックルヘッドと同じ性能を持ち、加えて軽量化とメンテナンス性の向上に成功。その信頼性の高さから、パンヘッドを搭載した「デュオグライド」が1964年、カリフォルニア・ハイウェイパトロールに採用されました。そして「パンヘッド」は1966年の「ショベルヘッド」へと進化していくのです。

さて、1960年代後半はハーレーにとって激動の時代となりました。というのも、1969年AMF(アメリカン・マシン・アンド・ファンダリー)に経営権が移り、また日本製バイクのアメリカ市場での急成長により思うような成長を遂げられなかつたのです。けれども、1981年には再び創立者の家族達により会社を買い戻すことによって、市場でのシェアも回復し経営状態も好転していくのです。その流れを作った最も大きな要因となったのが1984年から採用された「ブロックヘッド」とも呼ばれるV²エボリューションエンジンです。コンピューター制御の点火系と新ヘッドを採用し、高性能と信頼性を誇る1340ccのVツインエンジンは、90年代のハーレーを担う新エンジンなのです。

このV²エボリューションエンジンのために3タイプのフレームが用意されました。中でもソフトail・フレームは、ハーレーの伝統美を復活さ

せたクラシカルなもので、一見リジッドに見えるフレームは1950年代のパンヘッドエンジン搭載車が採用していたリジッドタイプのハードテールを彷彿とさせます。このリジッド風フレームの後部は、エンジンド下に水平にセットされた2本のガス封入式ショックユニットと連動するスイングアームとなっていて、外見からは想像できない優れた乗り心地を実現。伝統的ルックスの中に最新技術を盛り込んだ、ハーレーにとってエボックメイキングなものです。そして、このソフトail・フレーム採用車は、登場後1年でたちまちハーレーのベストセラー・シリーズとなつたのです。

1989年のニューモデルとして登場したFLSTFファットボーイは、人気のソフトail・フレーム採用車の中でも最もシンプルなモデルです。ハーレーというとFLHシリーズに代表されるような豪華仕様のモーターサイクルを想像しますが、もう一方ではシンプルでカスタムメイドな仕上がりのマシンにも人気が集まっています。FLSTFファットボーイは、フェアリングやバッグ類、エンジンガードなど、取り外せるものは可能な限り取り外したシンプルな構成が特徴。ライトステーとフォークカバーはクラシカルな表情を創り出しているものの、フロントフォークは太く逞しく、ショットガンマフラーと前後にディッシュホイールを採用することで、モダンでカスタムなムードを醸し出しています。もちろん、エンジンは1340ccのV²エボリューション。トルクフルなエンジンと、エンジンの鼓動をダイレクトに伝えるかのような加速感、重量感あふれるどっしりとした安定感ある走り味に、シンプルでカスタム・ムードあふれる仕上がりをプラスしたFLSTFファットボーイは、これからのハーレーのもう一つの指標となることでしょう。

〈FLSTFファットボーイ主要諸元〉

全長×全幅×全高：2835×970×1220mm

乾燥重量：300kg

エンジン：V²エボリューション 4サイクルOHV Vツイン

排気量：1340cc

最大トルク：10.76kg-m/4000rpm

トランスマッシャン：コンスタントメッシュ5速

ファイナルドライブ：ベルトドライブ

リヤサスベション：ソフトailサスベション

troduced as early as 1909. Since then, this unit has been enchanting countless motorcycle buffs with its performance, looks and unmistakable sound. Their recent achievement is the "Evolution" V-Twin, dubbed the "Blockhead", that debuted in 1984. Computer controlled igniting system and newly designed cylinder block heads give this 1,340cc unit superb performance and excellent reliability. Among the three types of frames prepared for this powerplant, the Softail type is highly acclaimed by the enthusiasts as it revived the Harley's traditional beauty in a modern way. It has brought back the rigid frame look-alike style of the time-honored '50 Hardtail. The rear swing arm is damped by two horizontally mounted shock units hidden under the engine, providing unmatched riding comfort. With its

tasteful blend of classical looks and sophisticated technology, the Softail models became the best selling series among the Harley stable just within one year after their debut.

The FLSTF Fat Boy, unveiled in 1989, is a good example of a minimalist Harley motorcycle, with the removal of the fairing, saddle bags, engine guard, etc. From the beefy front forks to the brilliant "Shotgun" exhaust and dish wheels, an unparalleled custom taste is filled in the simplified looks of the Fat Boy. The tough and big, 1,340cc "Evolution" V-Twin powerplant produces plenty of torque and provides effortless acceleration. With the FLSTF Fat Boy, the Harley-Davidson once again raised their benchmark in producing a big and fascinating motorcycle.



No one can deny that the Harley-Davidson motorcycle represents one of the most typical items of Americana to date. It all started in 1901, when two young men, William S. Harley and Arthur Davidson became interested in making combustion engine powered bicycles. Two younger brothers of Davidson, Walter and William later joined the group and they devoted their free time to the project. There were no suitable reference manuals, sophisticated tools and machinery, or abundance of money. However, they did have ambitions and ideas, and eventually succeeded in creating their original machine in 1902. Most of their first motorcycle's components were machined by hand; it is said that the spark plug was "as big as a door knob", and the carburetor was made from a tomato can. This unit had a displacement of 25 cubic inches (approx. 410cc) and could yield a respectable 3 h.p. In 1903, a small workshop was built in the backyard of Davidson's house. In 1906 a new, enlarged factory was constructed in Milwaukee, and the Harley-Davidson Motor Company was officially founded in 1907. Of course, they were not the only group aspiring to manufacture motorcycles; at the beginning of 1900's, more than 150 companies were established in the United States, but most of these were to fold within decades. After the Indian ceased production in 1953, the Harley-Davidson Company stood alone in the United States, producing truly American bikes. One major reason for this success was their effort in innovating technologies from the outset. In 1912 the first commercially successful motorcycle clutch mechanism was introduced by Harley-Davidson. Drum brakes and a 2-speed transmission were developed in 1914, and they became once again the first to produce a revolutionary three-speed transmission. With these technical innovations, the Harley-Davidson has come to establish a firm reputation in its technology and quality. Among these innovations, the famous V-twin engine - an identity of the current Harley-Davidson - was first in-

PAINTING

《FLSTF フットボーイの塗装について》

クラシカルなムードとシンプルでカスタムメイドなムードを併せ持つ、ハーレーダビットソン FLSTF フットボーイ。前後のフェンダー やタンクを彩るボディ色として、ビビッドブラック、マルーン系のブライトピクトリーレッドサンクロ、ブルー系のアクアパールの3タイプの単色と、アクアパール／シルバー、ダーク／ブライトピクトリーレッドサンクロ、ナゲットイエロー／バーチホワイトの3タイプのツートーンカラーが用意されています。スライドマークは、単色のアクアパール用とツートーンのナゲットイエロー／バーチホワイト用の2種類をセットしました。モデルはつやあり、つや消しのメッキパーツを多用して構成されていますが、エンジンサイドケース部分など、薄めたエナメル塗料のブラックを流し込んで、塗料が乾かなるうちにふきとる「スミ入れ」することにより質感がいっそう高まります。なお、フレームとスイングアームはブラック塗装のみ、ハンドルバーとサイドスタンドはクロームメッキのみで塗装の手間を省きました。細部にわたる入念な塗装はモデルの実感をいっそう高めてくれます。組立図中の指示を参考に、ていねいな塗装仕上げに腕をふるって下さい。

PAINTING THE HARLEY DAVIDSON FLSTF FAT BOY

The Harley Davidson FLSTF is offered in various colors for its tank and fenders: Mono-tone schemes are Vivid Black, Bright Victory Red, and Acua Pearl, while two-toned schemes are Acua Pearl/Silver, Dark/Bright Victory Red, Nugget Yellow/Birch White. The kit supplied decals are for Mono-tone Acua Pearl or two-toned Nugget Yellow/Birch White schemes. The model includes high quality metal plated parts, plus factory painted frame and swing arm. Detail painting is called out during construction and should be done at that time. Take care when overspraying the model with clear, as it could harm decals if not properly applied.

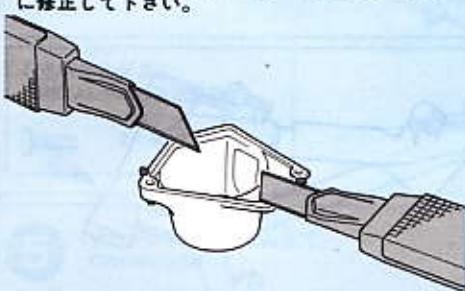


塗装のしかた

《塗装について》

塗料は各部の色を変えるために塗るのではありません。各部品を塗装することでその部品のもつ形や働きをひきたたせるのです。

★部品をランナーから切り離す時には、部品形状に注意して、部品にランナーが少し残る位置でカッター等で切り取ります。部品に残ったランナーはカッターナイフ、ヤスリ等でていねいに修正して下さい。



★接着面のメッキもはがして下さい。

《使用する塗料》

タミヤからはスプレー式のタミヤカラー、筆塗り用のエナメル塗料、アクリル塗料、マーカータイプのペイントマーカーが発売中。説明図中はタミヤカラーのナンバーで指示しました。

Colors required during assembly are shown by Tamiya paint code numbers.

ボディ色
Body color

ツートン：ナゲットイエロー(TS-16)/バーチホワイト(マーク)
two tone : Yellow (TS-10)/White (Decal)

《塗装する前に》

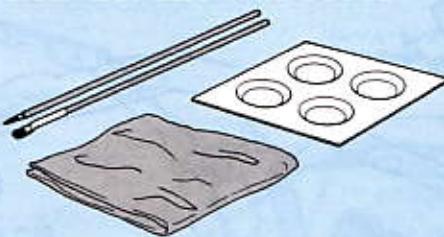
各部品の塗装する面のゴミやはこり、油などをやわらかい布でふき落して下さい。中性洗剤で一度洗っておくのも良いでしょう。接着剤のはみ出しやキズは塗装ではかくせません。カッターナイフや目の細かな紙やすりで修正します。またパーティングライン（部品の合せ目）もやすりをかけ修正し塗装します。



《塗装用具について》

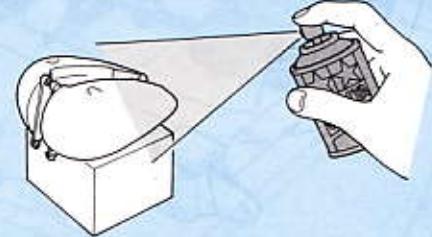
タミヤモデリングブラシ、とき皿、ウエス（エナメル塗料のブラシを流し込んで、塗料が乾かなるうちにふきとる「スミ入れ」）などを使ってお使い下さい。モデリングブラシは各種とりそろえてあります。筆塗りをする場所や用途に合せてお使い下さい。

塗装し終った筆はウエスでよく塗料をぬぐいとり、溶剤（エナメル用とアクリル用があるので注意してまちがえないようにします。）でよく塗装を洗い流し、水洗してから保存します。

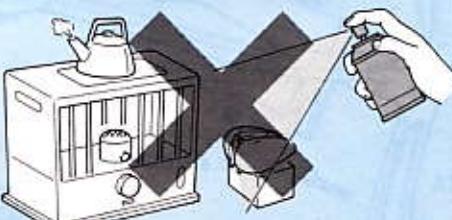


《スプレー塗装》

フューエルタンクや前後のフェンダーなどの大きなパーツの塗装には、広い面積の塗装でもムラが出にくく美しい仕上がりが楽しめるスプレー塗料が便利です。また、同じ塗装色で仕上げるパーツはできるだけ組み立ててから塗装するのがよいでしょう。なお、フューエルタンクなどの接着面は、サンドベーバーやコンバウンドなどを使ってあわせ目の段差をなくし、きれいに整形してから塗装します。

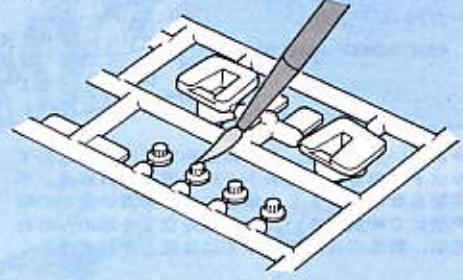


★スプレー塗料は缶に印刷された注意をよく読んで正しく使用して下さい。また火気のある場所での塗装は絶対にしないで下さい。



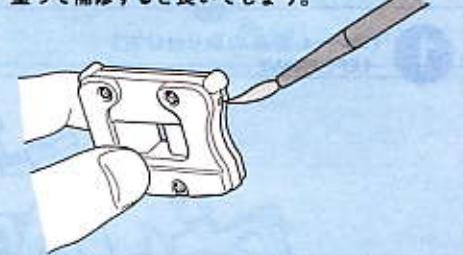
《小さなパーツの塗装》

小さなパーツの塗装には筆塗り塗料が最適です。パーツはランナーから切り取らずに、ランナーについたまま塗装すると作業がしやすくなります。



《メッキパーツの補修》

メッキ部品は、接着面のメッキをカッターナイフなどを使って削りおとさないと接着できません。そのため、接着した後に補修が必要です。メッキがはがれてしまった部分はX-11クロームシルバーを塗っておきましょう。また、ランナーから切り離した部分もクロームシルバーを塗って補修すると良いでしょう。



PRIOR TO PAINTING

★Cut off parts carefully using side cutters or a modeling knife.

★Remove all dust and oil from parts prior to painting. If necessary, wash with detergent, rinse off thoroughly and allow to air dry.

★Remove excess cement, fill in and clean up joints and seam lines. Smooth surface using a modeling knife and fine abrasive papers.

BRUSH PAINTING

Brush painting is the most common method of adding color to models, especially for the fine detail. In addition to the basic paints and brushes, the following items come in handy when painting: exclusive paint thinner, an empty paint jar or small paint tray, and rags. After painting, wipe paint from brush with rags and clean brush with thinner.

★Allow adequate ventilation while painting.

★Paint small parts with a brush. Hold them with clips, or paint them while they are still attached to the parts tree.

SPRAY PAINTING

For finishing large areas, use of spray paints or an airbrush will provide an even finish. Carefully read and follow the instructions provided.

Sub-assemblies to be painted in one color should be done after assembly.

★When using a spray can, shake it well before painting. Test spray to check if paint is properly mixed.

★Spray can or airbrush painting should be done in one direction only, and at a distance of about 20cm from the object. Always give a light coat to the entire surface and allow to dry, then repeat this procedure two or three times for a perfect finish.

★Avoid painting near an open fire.

REPAIR OF PLATED PARTS

To cement metal plated parts, it is necessary to remove the plating from the surface to be cemented. If plating is marred during this procedure, repair the area using X-11 chrome silver paint.

XF-16 ● フラットアルミ / Flat aluminum

XF-27 ● ブラックグリーン / Black green

 単色 : アクアパール (TS-19)
mono tone : Metallic blue (TS-19)

TS-16 ● イエロー / Yellow

TS-19 ● メタリックブルー / Metallic blue

X-1 ● ブラック / Black

X-2 ● ホワイト / White

X-8 ● レモンイエロー / Lemon yellow

X-11 ● クロームシルバー / Chrome silver

X-18 ● セミグロスブラック / Semi gloss black

X-26 ● クリヤーオレンジ / Clear orange

X-27 ● クリヤーレッド / Clear red

XF-1 ● フラットブラック / Flat black



TAMIYA COLOR

タミヤカラー(アクリル塗料)

塗りやすい水溶性塗料です。安全性が高く筆は水洗いもできます。木や金属、発泡スチロールなど広く使え、スプレー塗装もOK。



作る前にかならず
お読み下さい。

READ BEFORE ASSEMBLY.

★お買い求めの際、または組み立ての前には必ずキットの内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などありました場合には、お買い求めの販売店にご相談下さい。なお組み立てを始められた後は、製品の返品交換などには応じかねます。

塗装指示のマークです。タミヤカラーのカラーナンバーで指示しました。

This mark denotes numbers for Tamiya Paint colors.

図中青く塗られた部分は接着面です。メッキ部品は接着面のメッキを、ナイフの先などではがしてから接着して下さい。

* Portions indicated in blue require cement.

注意

★このキットは組み立てモデルです。作る前に必ず説明書を最後までお読み下さい。また小学生などの低年齢の方が組み立てる時は、保護者の方もお読み下さい。

★工具の使用には十分注意して下さい。特にカッターナイフ、ニッパーなど刃物によるケガ、事故には注意して下さい。

★接着剤や塗料は使用する前にそれぞれの注意書きをよく読み、指示に従って正しく使用し、使用する時は換気にも十分注意して下さい。

★小さなお子さまのいる場所での工作は避けて下さい。小さな部品の飲み込みや、ビニール袋をかぶっての窒息など危険な状況が考えられます。

CAUTION

★Read carefully and fully understand the instructions before commencing assembly.

★When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.

★Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used (not included in kit).

★Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

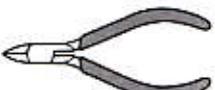
用意する工具

Tools recommended

接着剤(プラスチック用)
Cement



ニッパー^ー
Side Cutters



ナイフ
Modeling knife



ピンセット
Tweezers



はさみ
Scissors



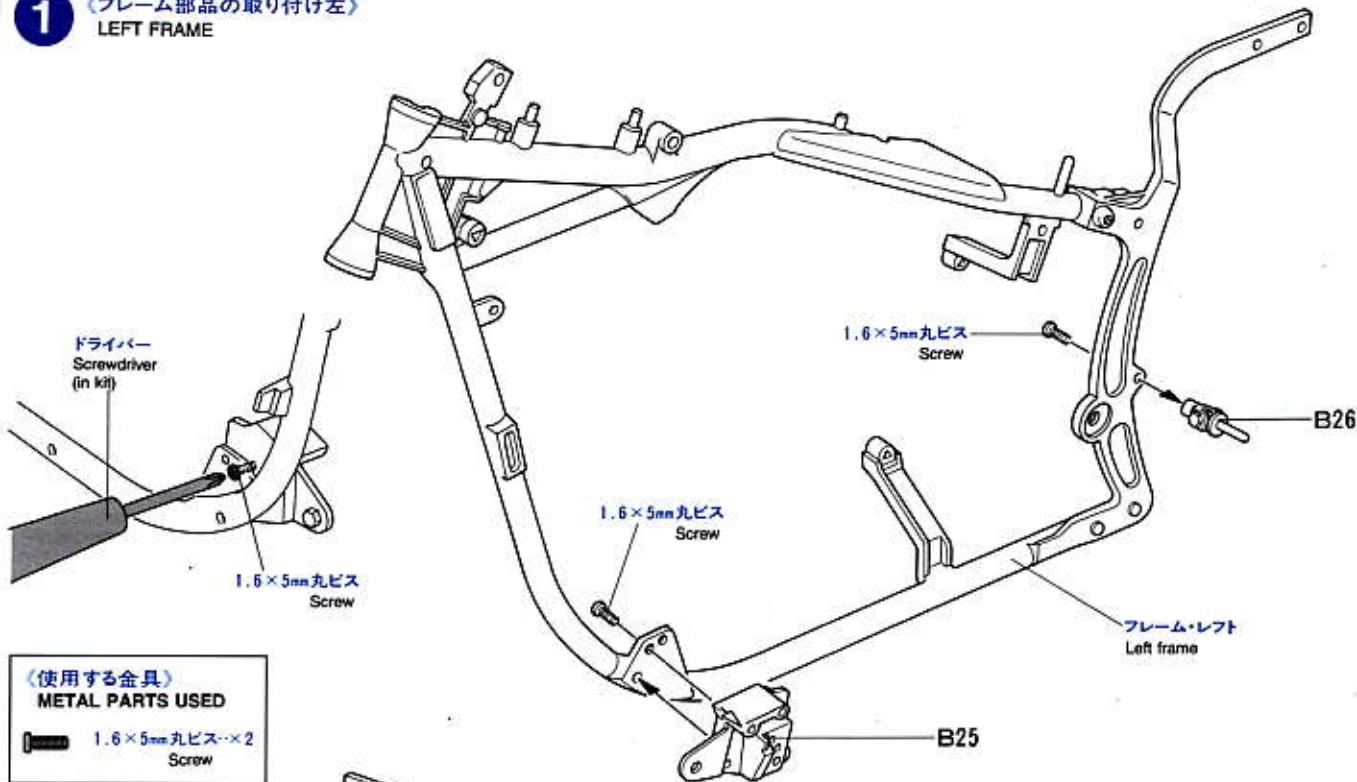
+ドライバー(中)
(+) Screwdriver medium



★この他に、紙やすりとマーク貼り用に小皿、柔らかい布を用意して下さい。

★Sand paper and soft cloth will also come in handy.

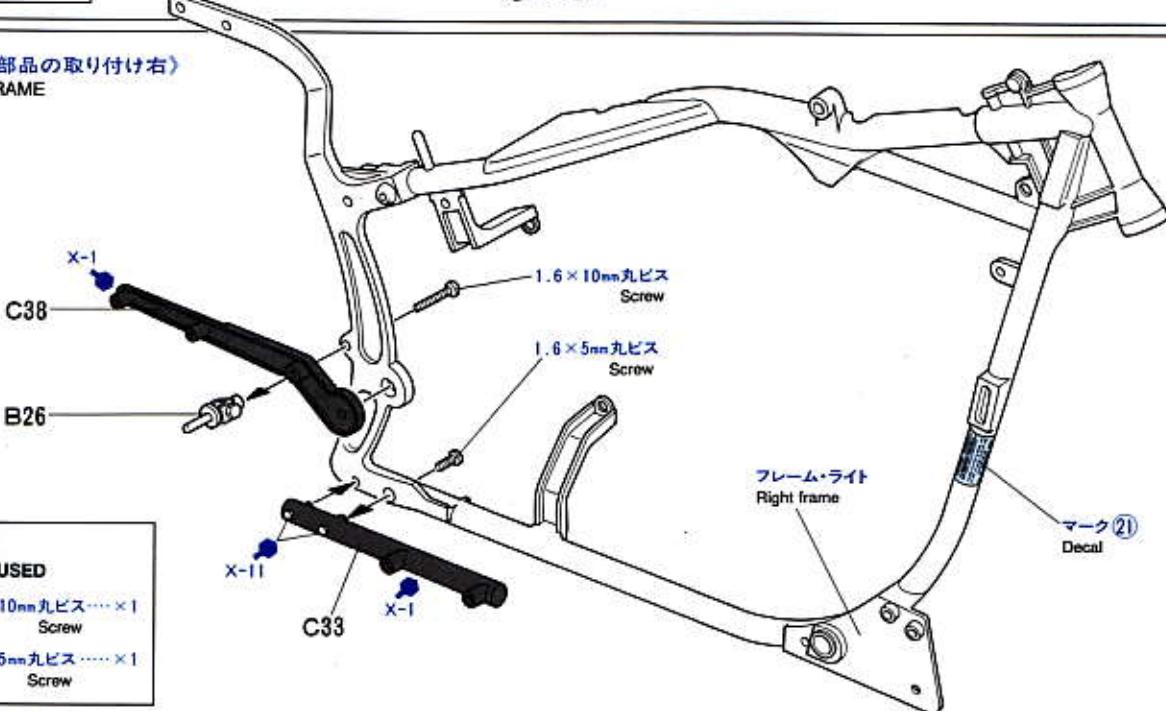
1 (フレーム部品の取り付け左) LEFT FRAME



《使用する金具》 METAL PARTS USED

1.6×5mm六角ボルト ×2
Screw

2 (フレーム部品の取り付け右) RIGHT FRAME



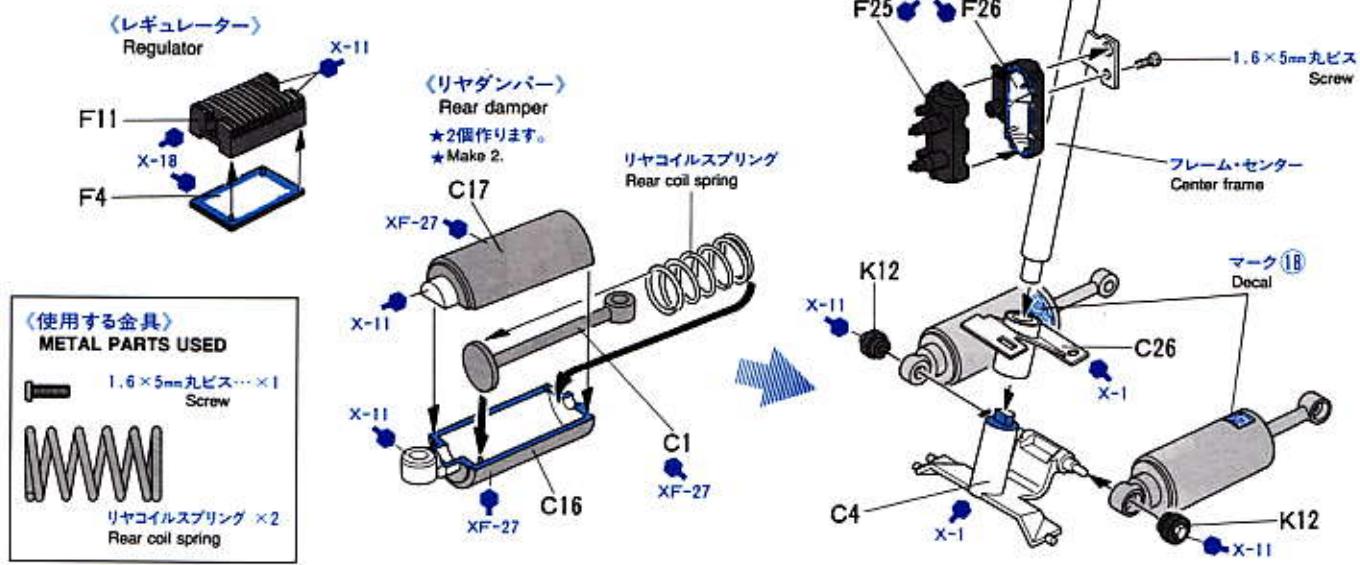
《使用する金具》 METAL PARTS USED

1.6×10mm六角ボルト ×1
Screw

1.6×5mm六角ボルト ×1
Screw

3

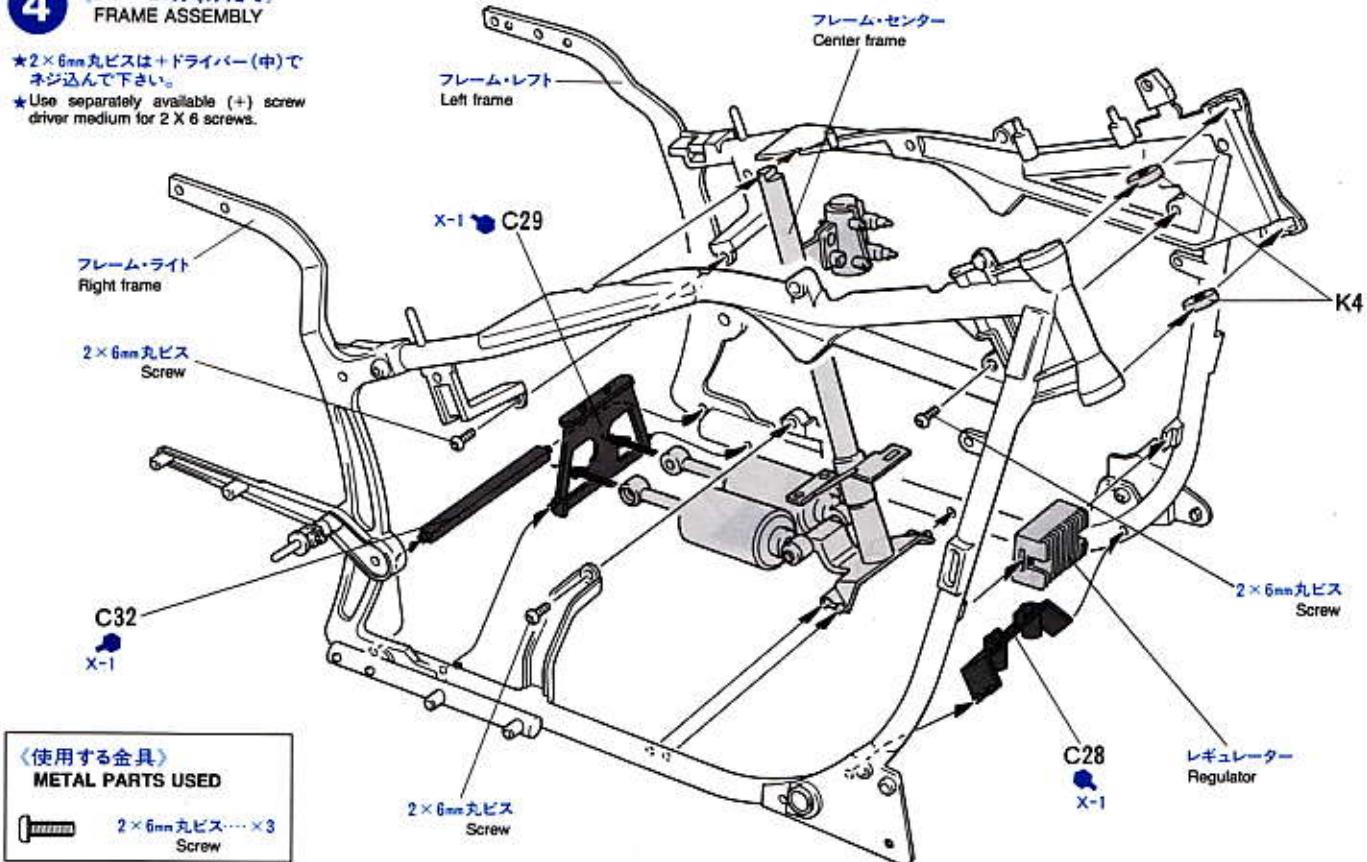
〈フレーム・センターのくみたて〉
CENTER FRAME



4

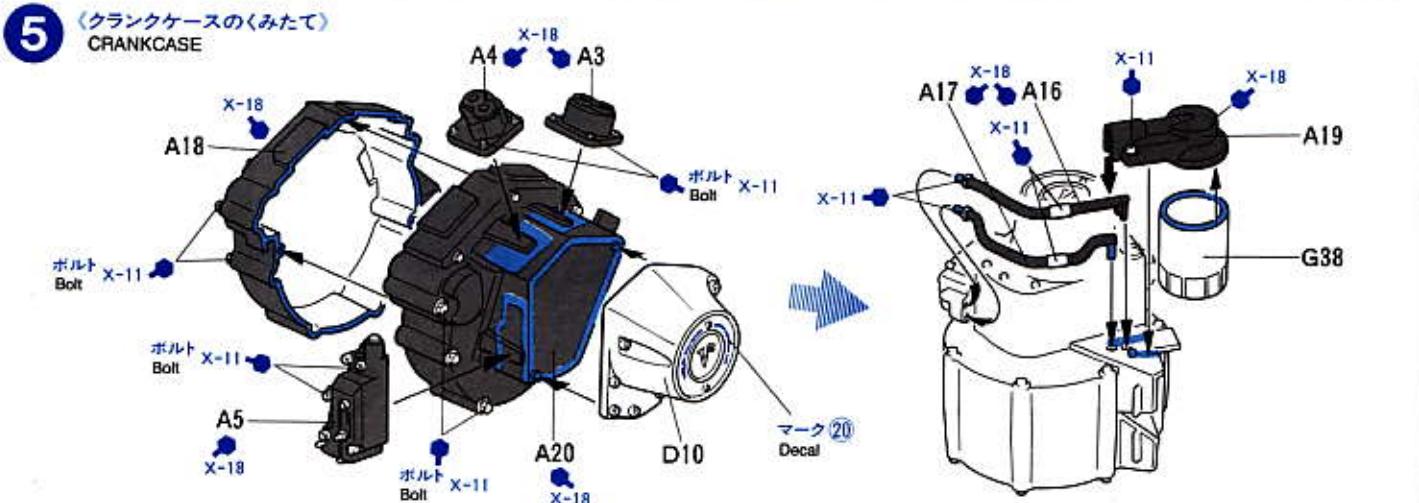
〈フレームのくみたて〉
FRAME ASSEMBLY

★2×6mm六角ビスは+ドライバー(中)で
ネジ込んで下さい。
★Use separately available (+) screw driver medium for 2 X 6 screws.

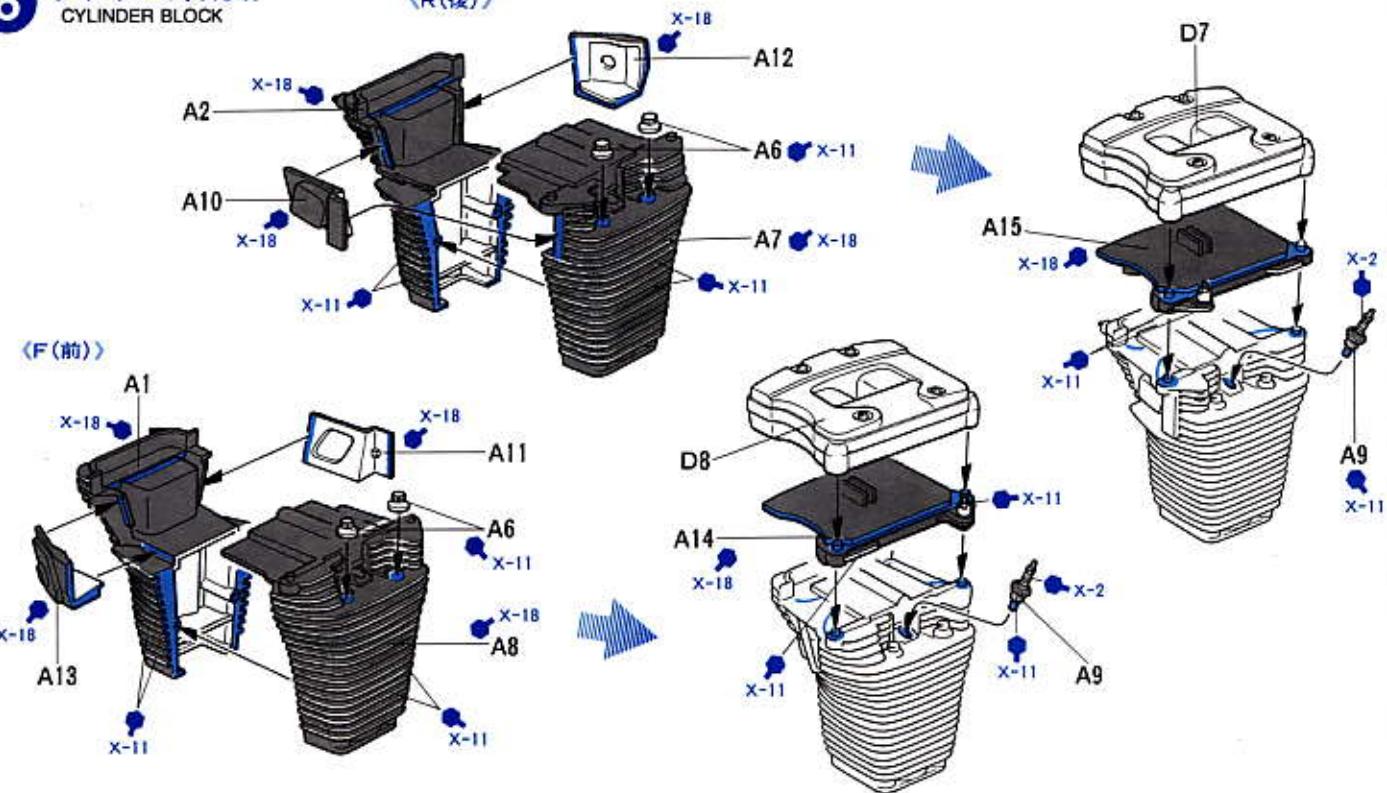


5

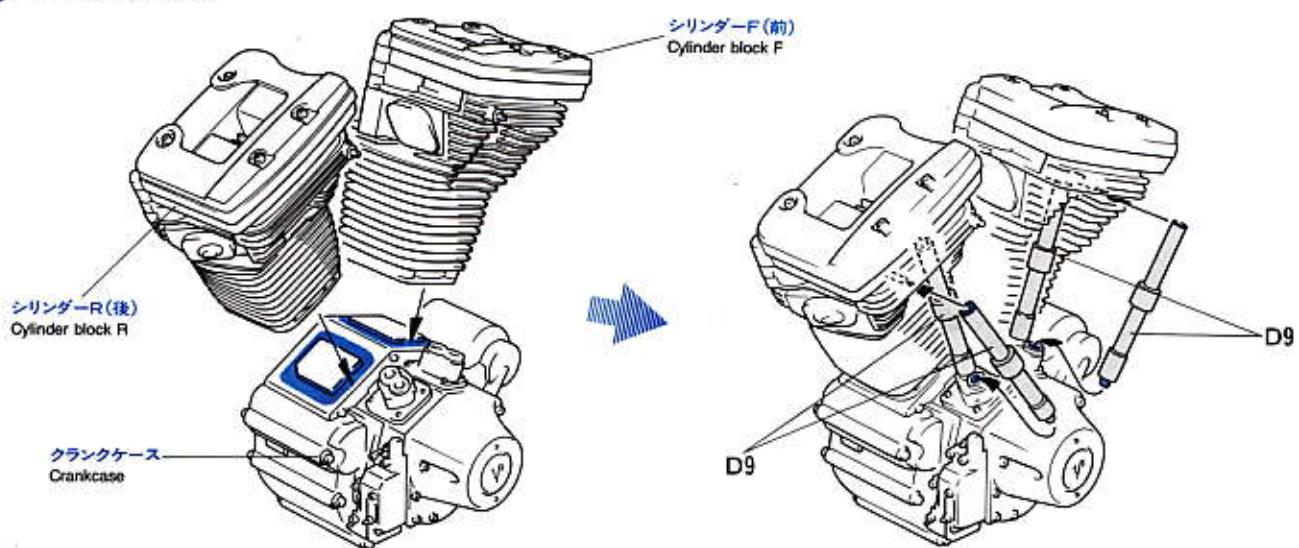
〈クランクケースのくみたて〉
CRANKCASE



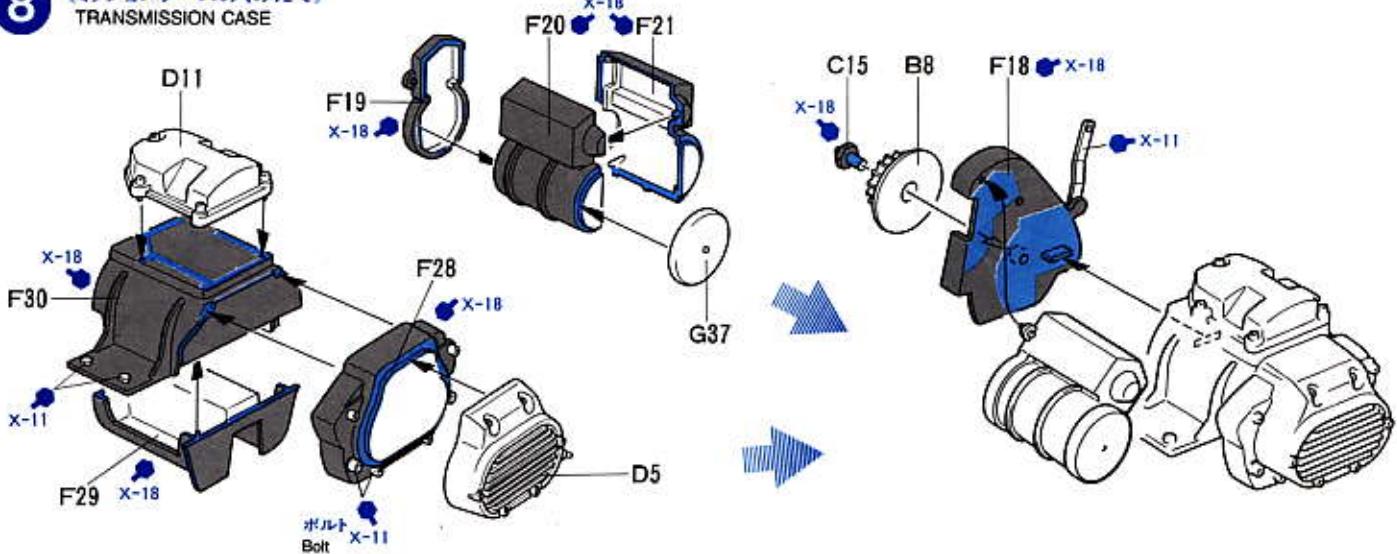
6 《シリンダーのくみ立て》
CYLINDER BLOCK



7 《エンジンのくみ立て》
ENGINE ASSEMBLY

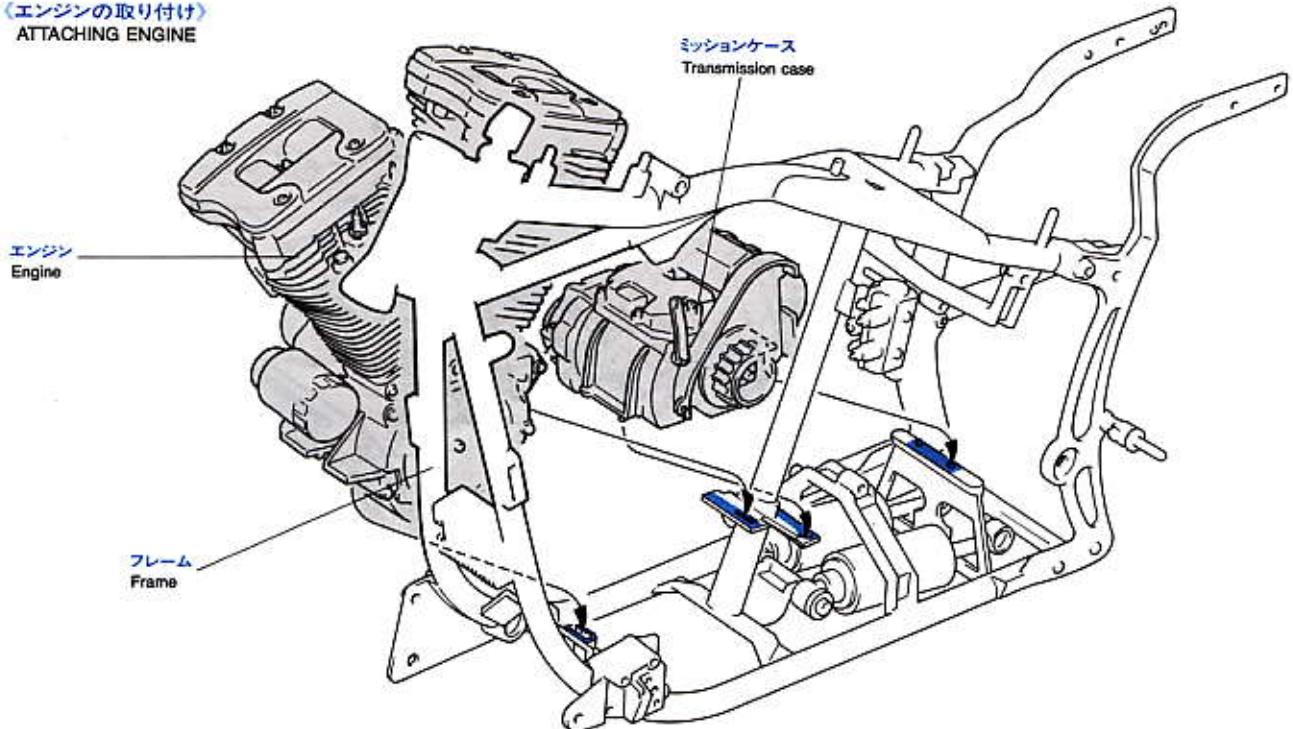


8 《ミッションケースのくみ立て》
TRANSMISSION CASE



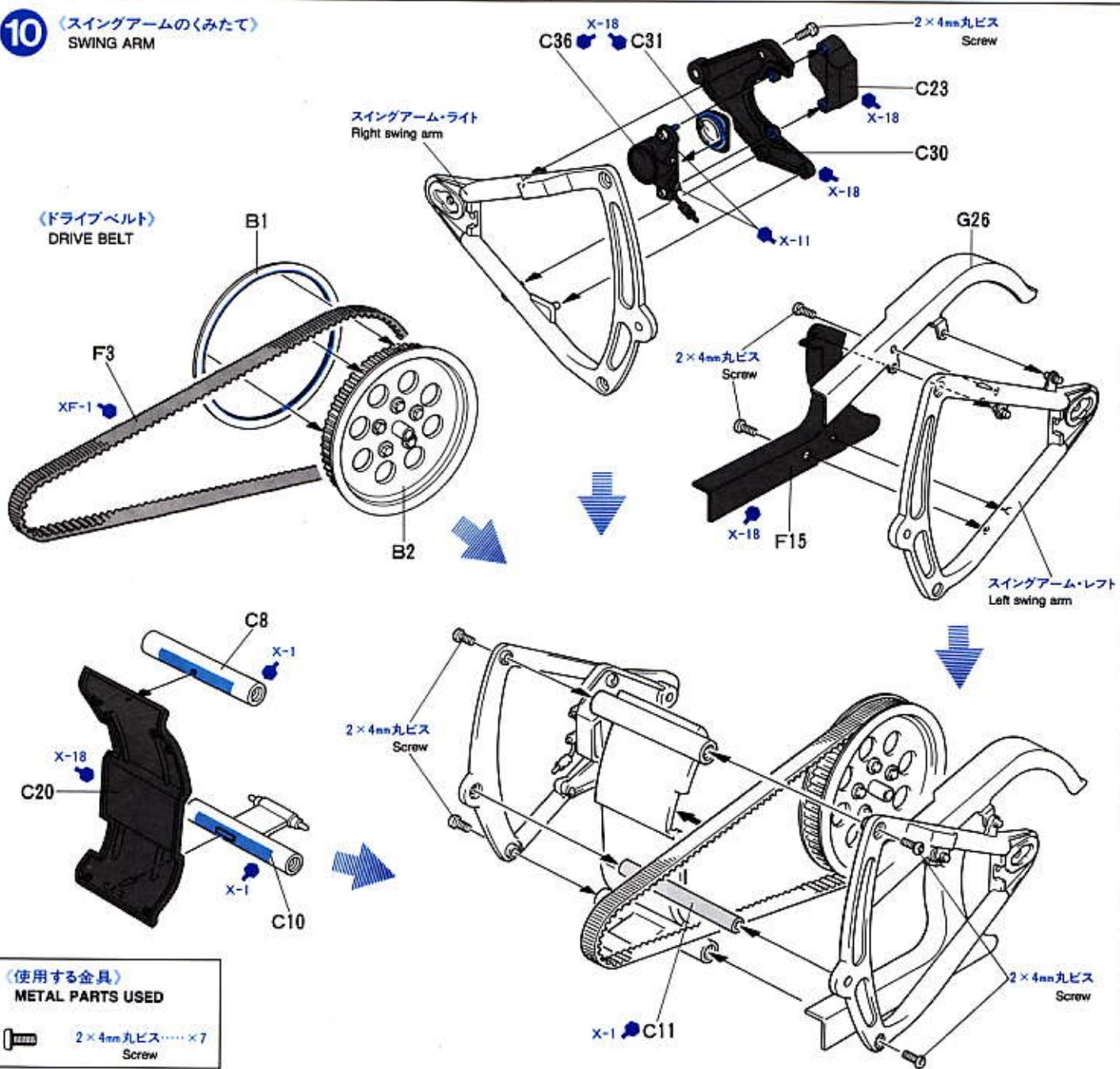
9

《エンジンの取り付け》 ATTACHING ENGINE



10

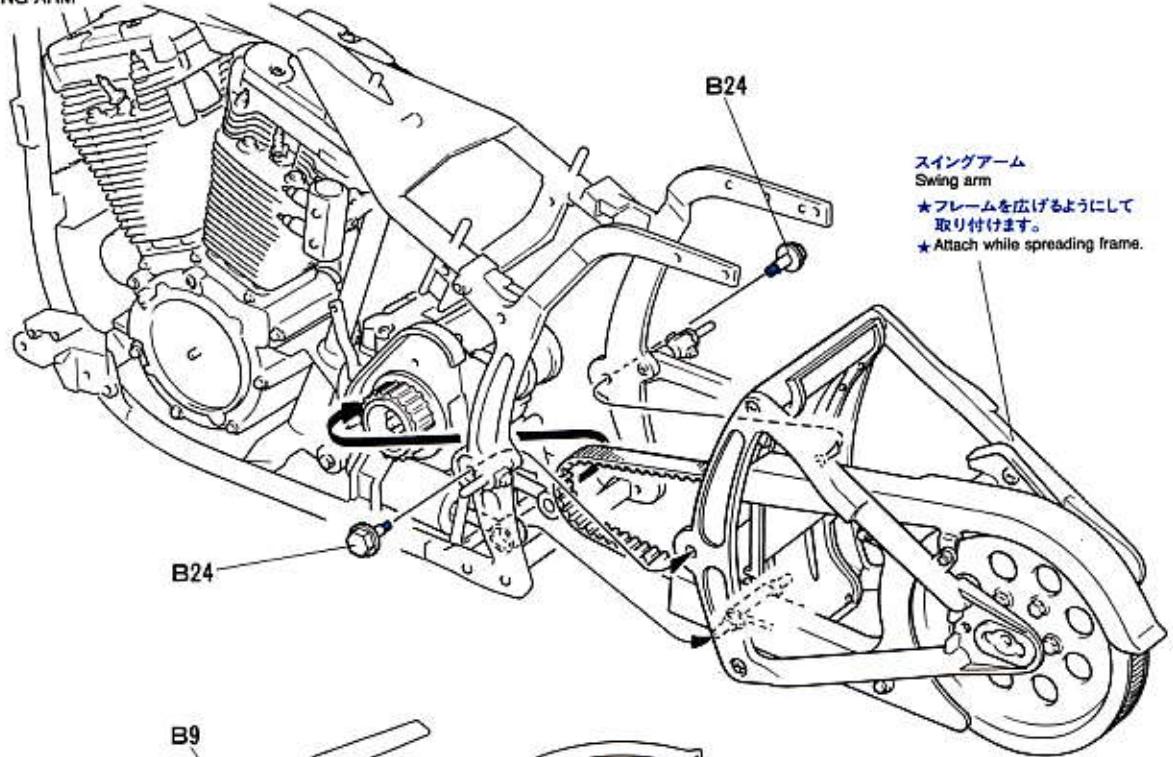
《スイングアームのくみたて》 SWING ARM



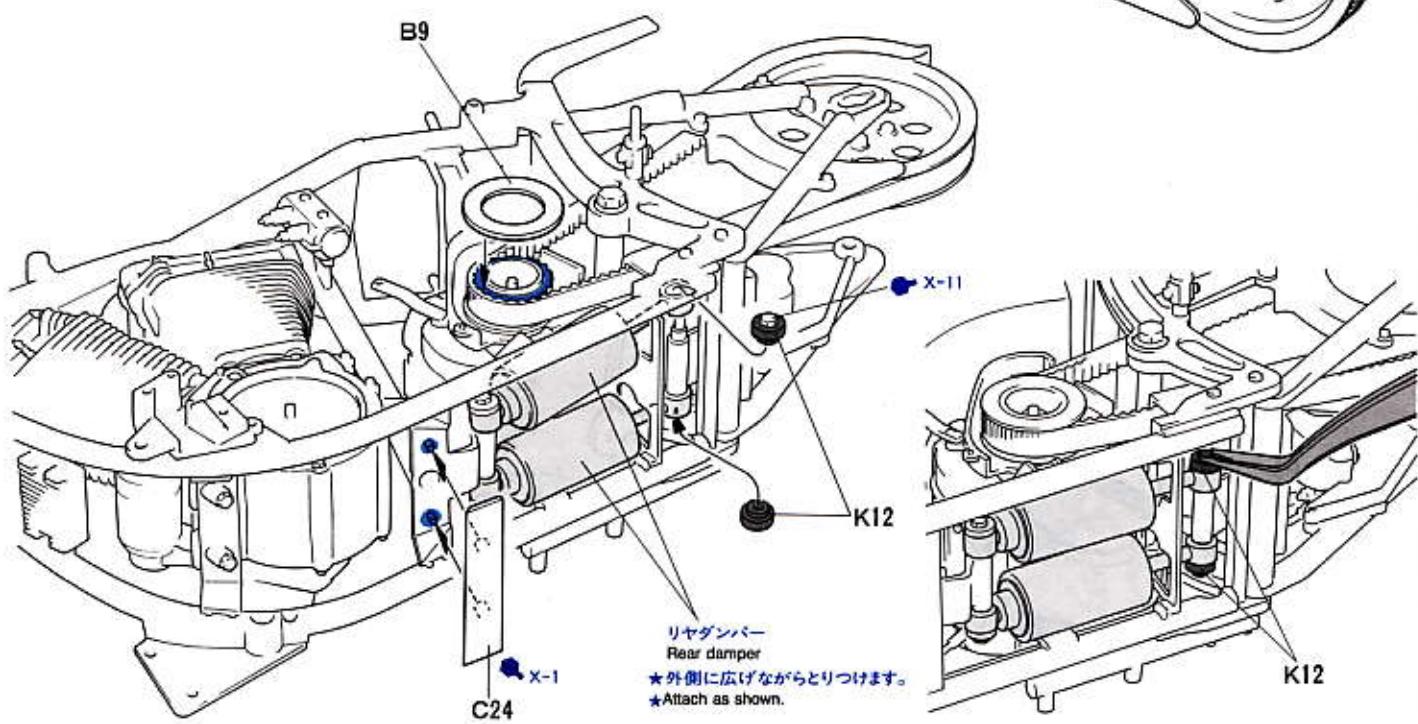
《使用する金具》 METAL PARTS USED

 2×4mm丸ビス……×7
Screw

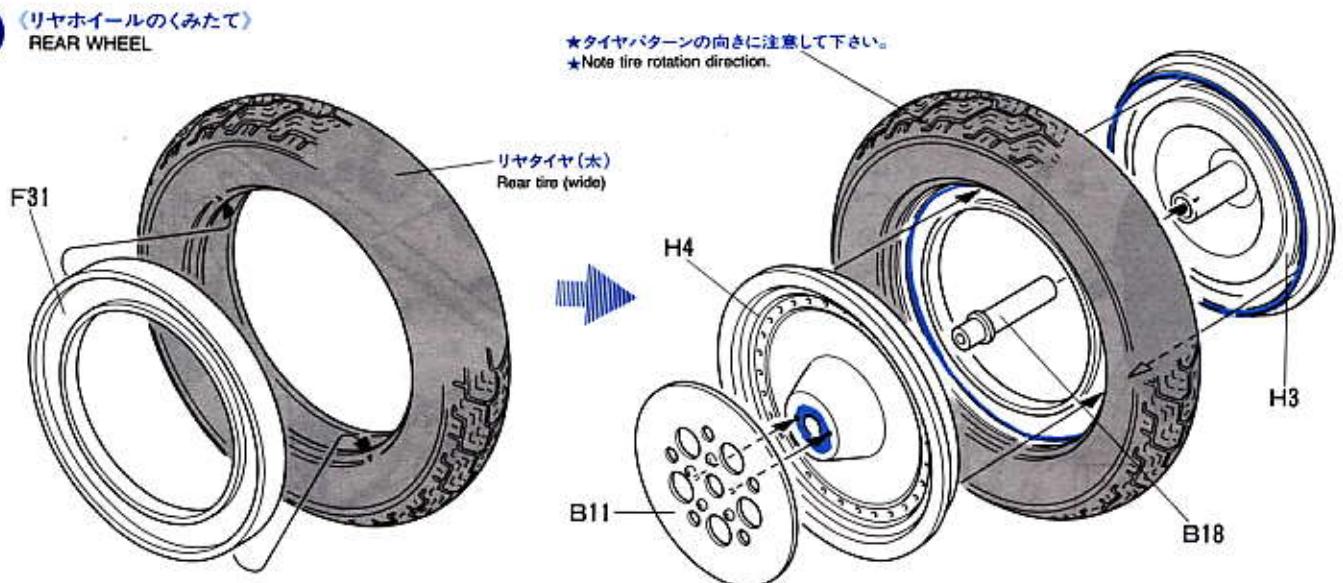
11 《スイングアームの取り付け》 ATTACHING SWING ARM



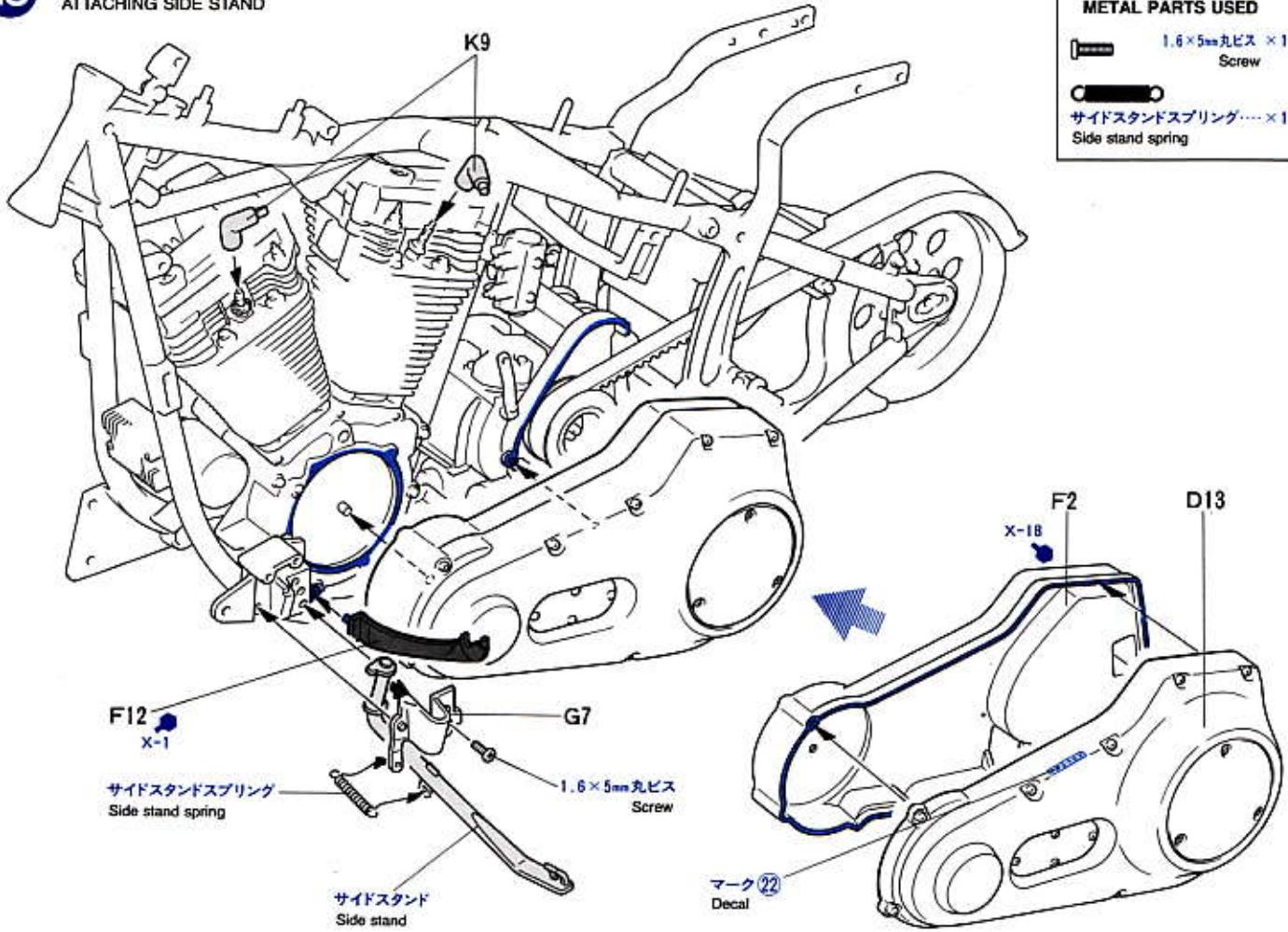
スイングアーム
Swing arm
★フレームを広げるようにして
取り付けます。
★ Attach while spreading frame.



12 〈リヤホイールのくみたて〉 REAR WHEEL



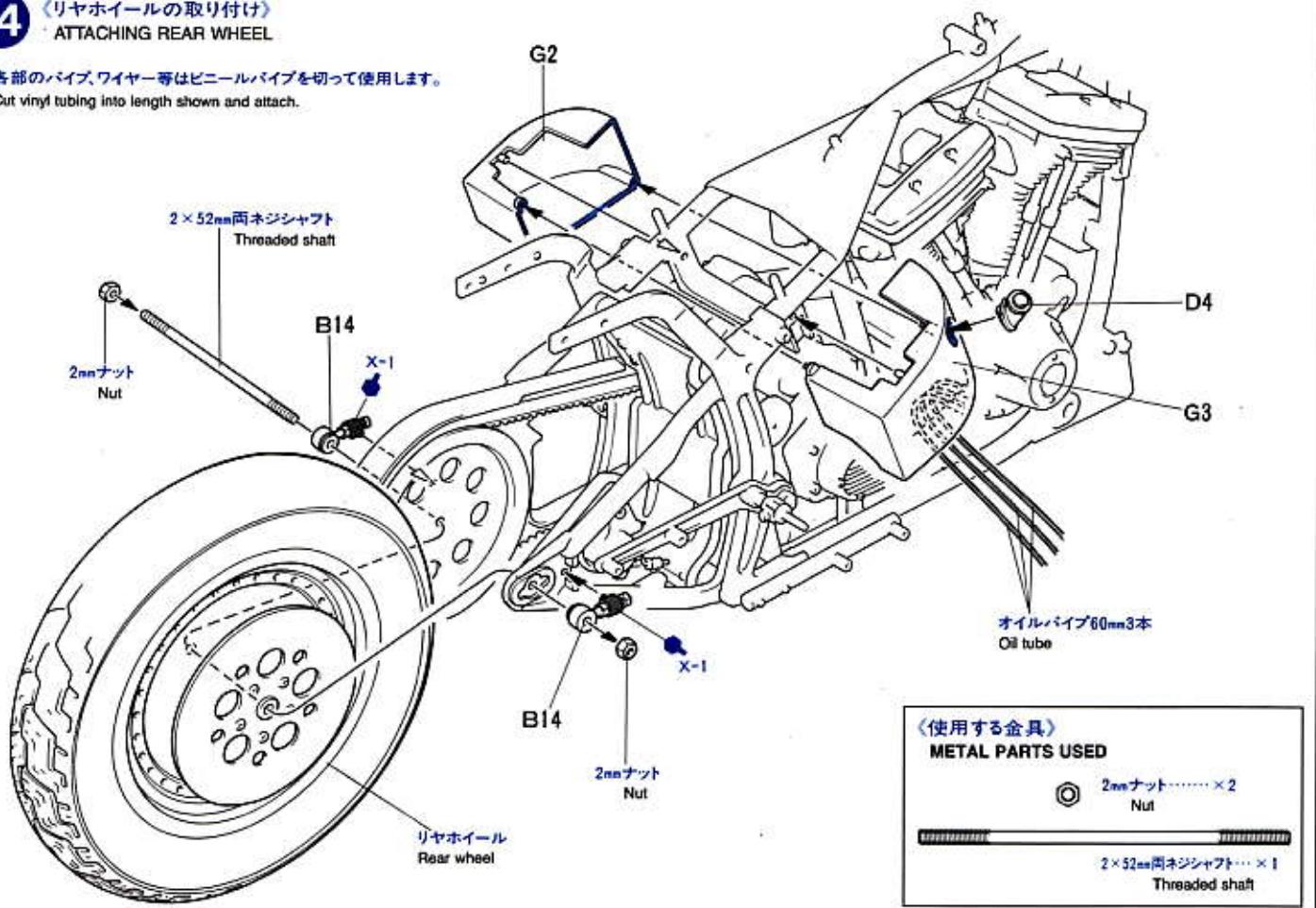
13

《サイドスタンドの取り付け》
ATTACHING SIDE STAND

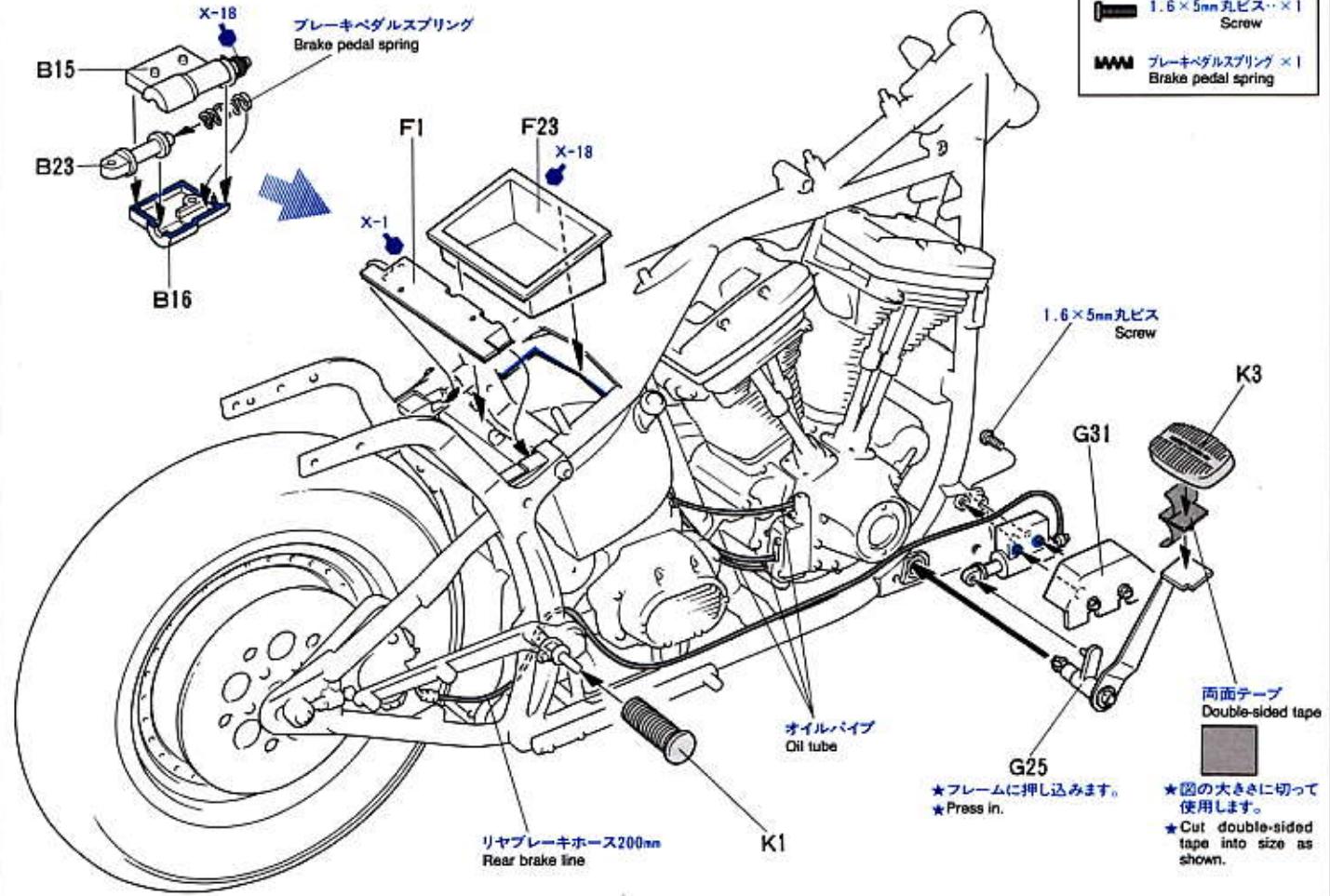
14

《リヤホイールの取り付け》
ATTACHING REAR WHEEL

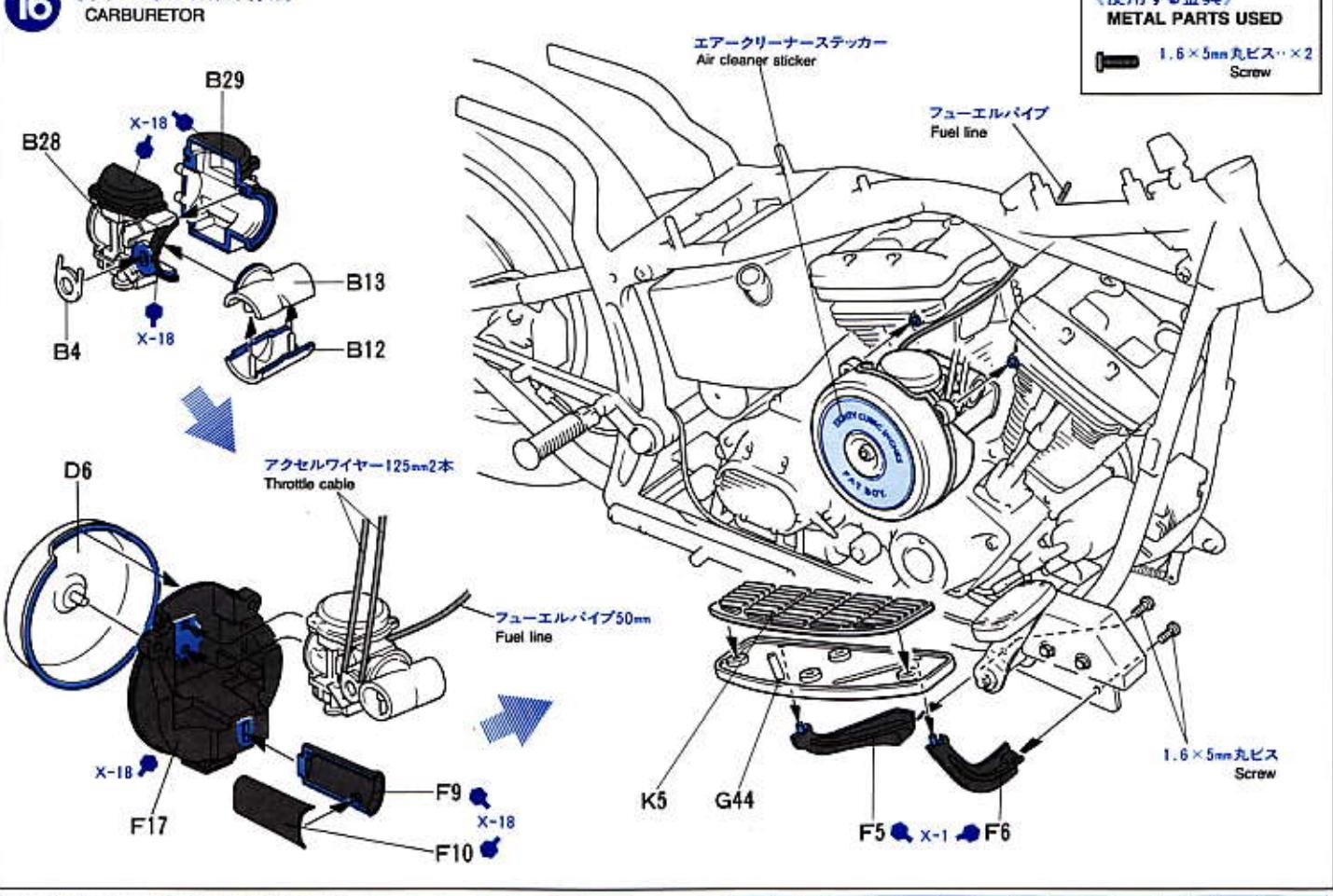
★各部のパイプ、ワイヤー等はピニールレバーパイプを切って使用します。
★Cut vinyl tubing into length shown and attach.



15

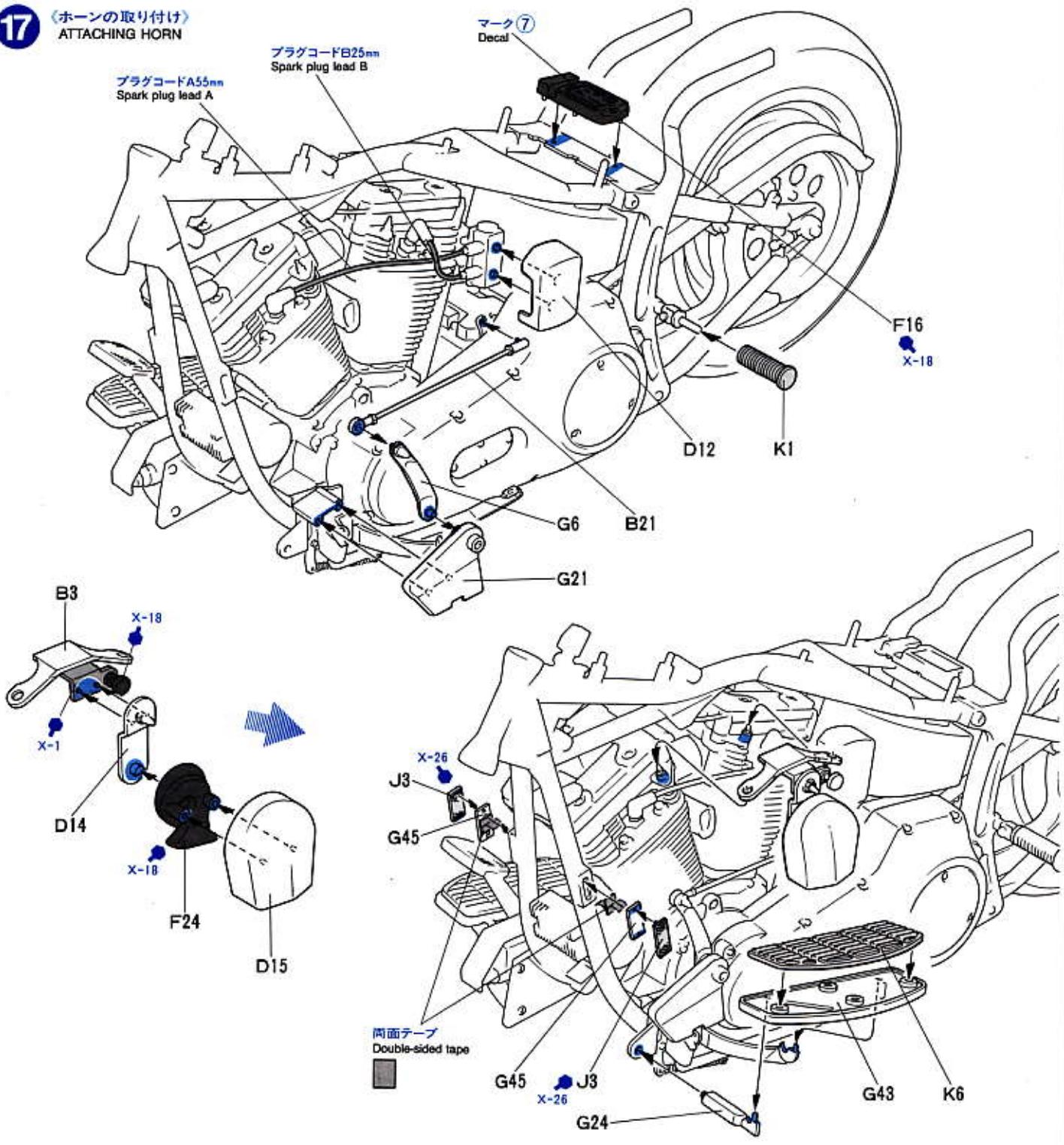
《ブレーキペダルの取り付け》
REAR BRAKE PEDAL

16

《キャブレターの取り付け》
CARBURETOR

17

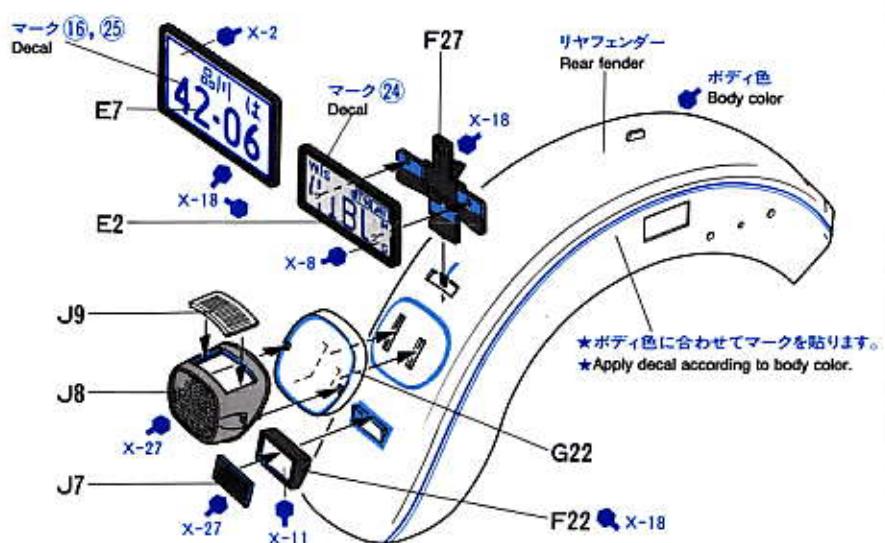
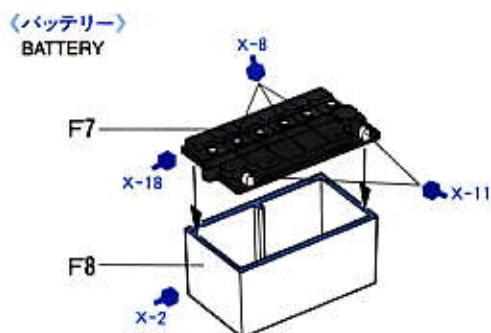
《ホーンの取り付け》
ATTACHING HORN



18

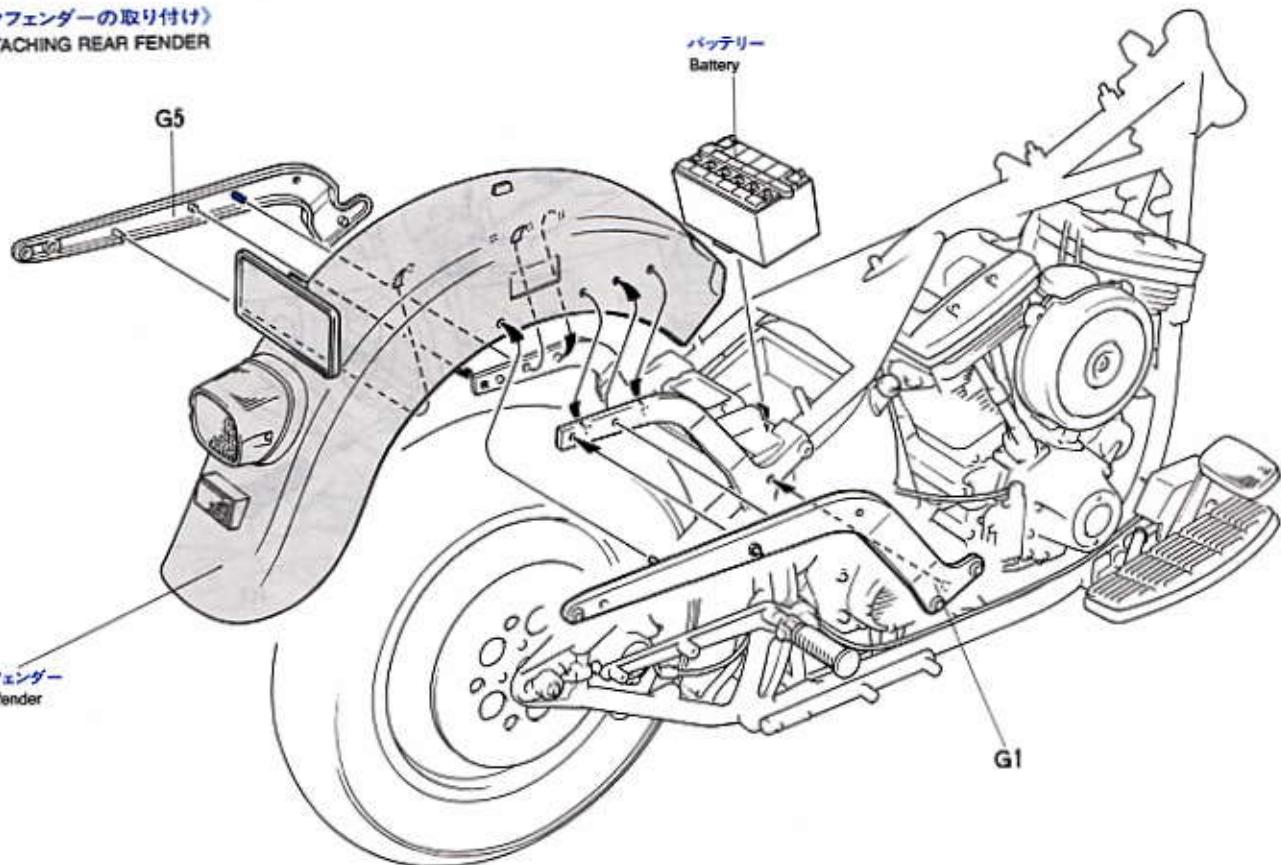
《リヤフェンダーのくみ立て》
REAR FENDER

★ナンバープレート(E2, E7)はどちらか選んでとりつけます。
★Select either E2 or E7 for license plate.



19

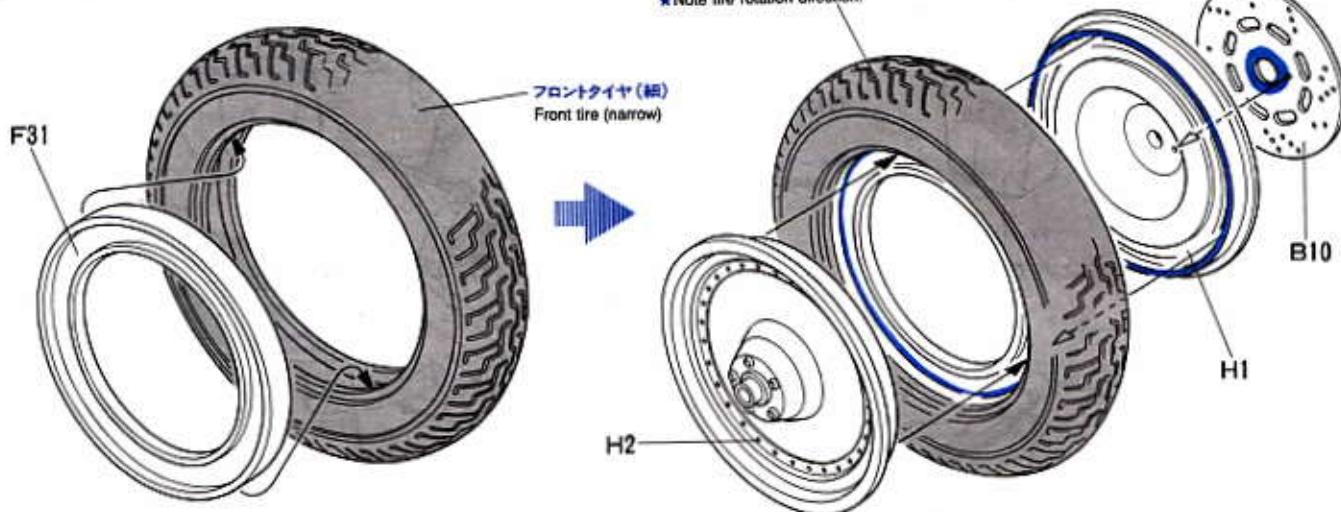
《リヤフェンダーの取り付け》
ATTACHING REAR FENDER



20

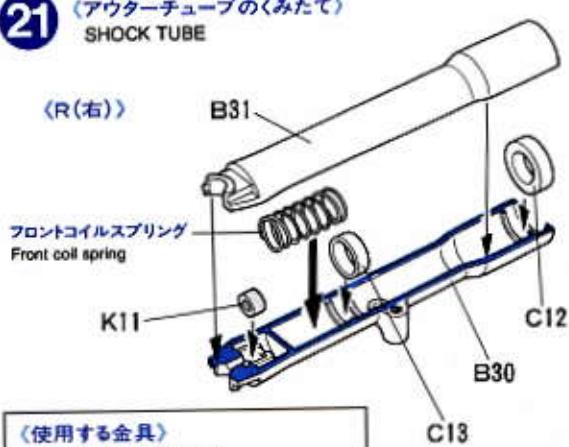
《フロントホイールのくみたて》
FRONT WHEEL

★タイヤパターンの向きに注意して下さい。
★Note tire rotation direction.



21

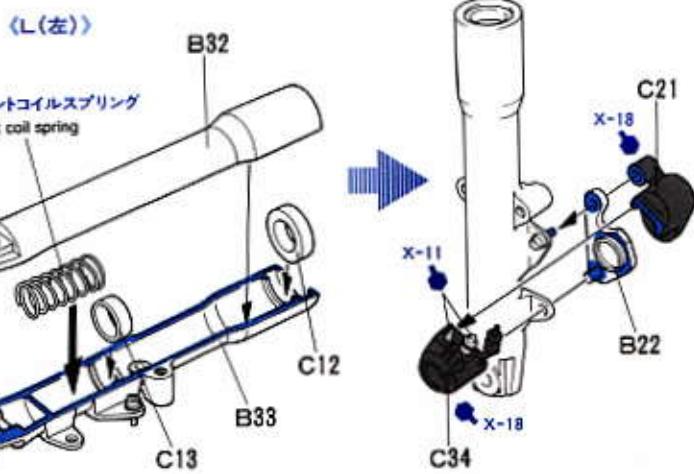
《アウターチューブのくみたて》
SHOCK TUBE



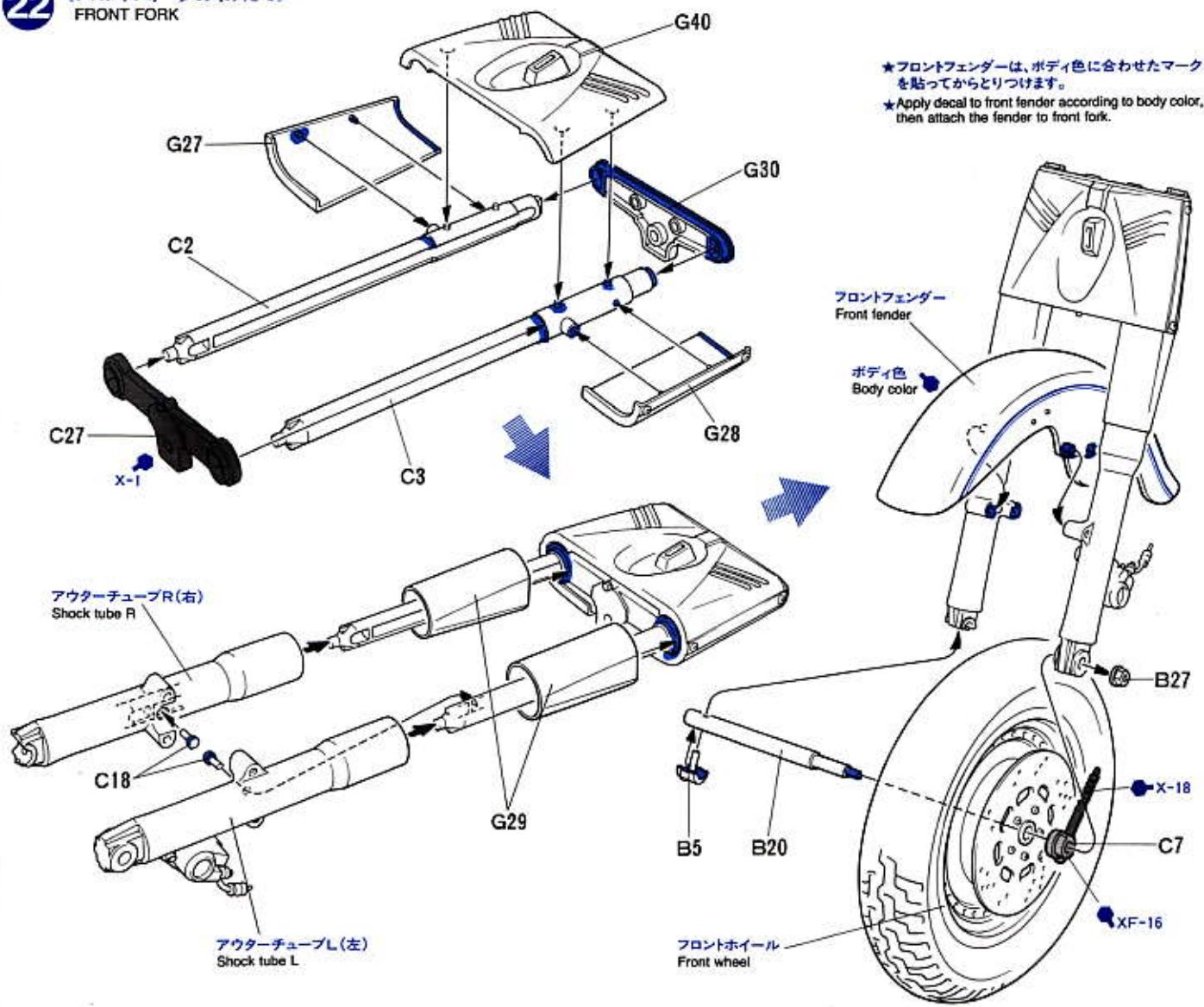
《使用する金具》
METAL PARTS USED



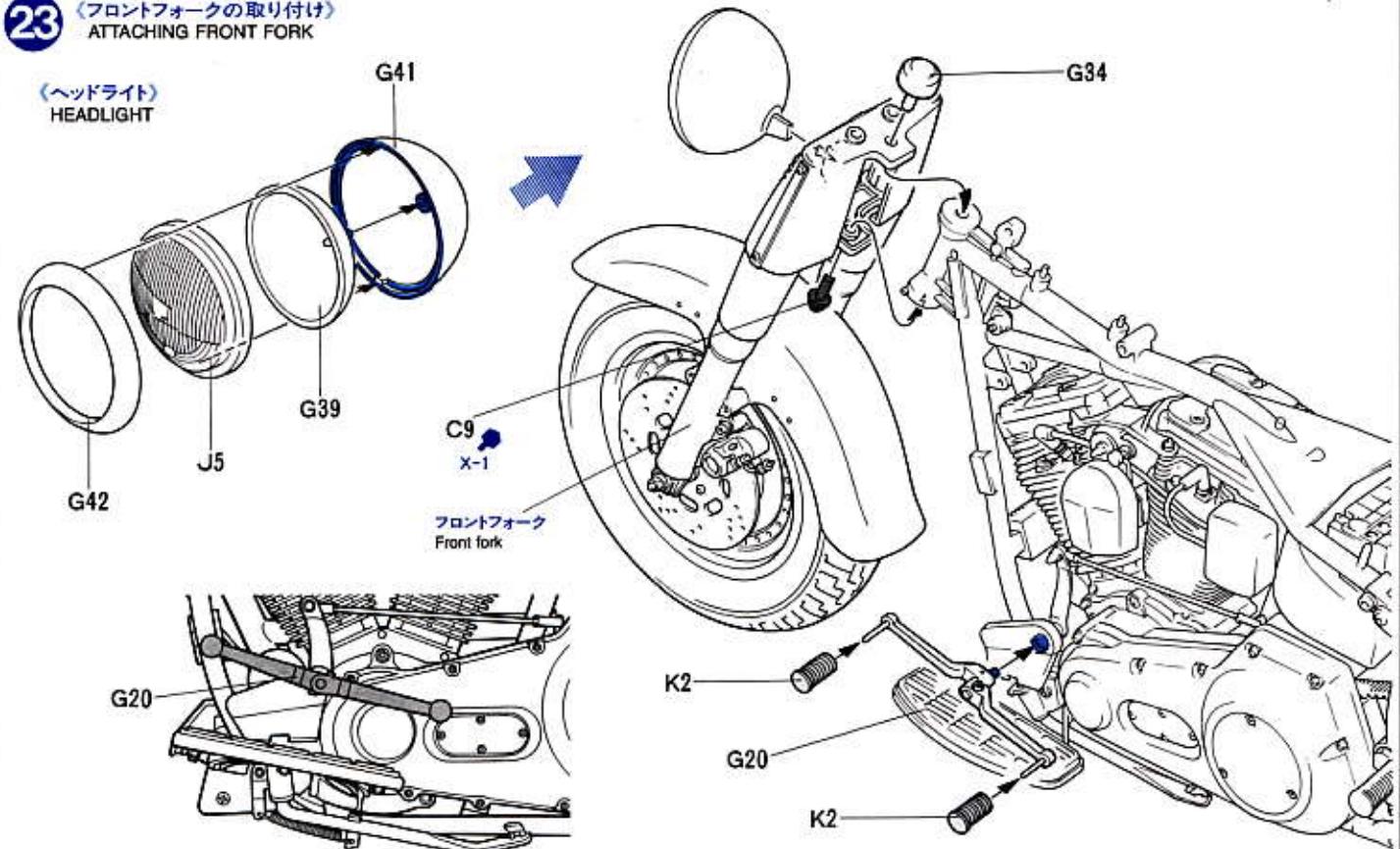
フロントコイルスプリング……×2
Front coil spring



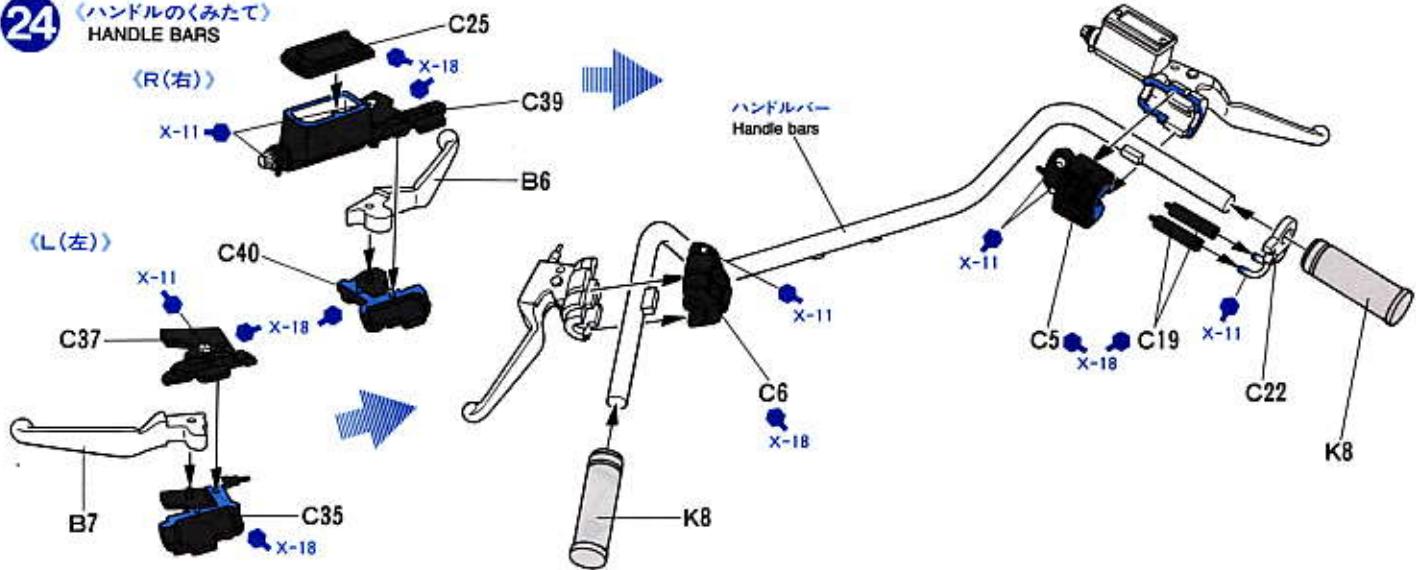
22

《フロントフォークのくみたて》
FRONT FORK

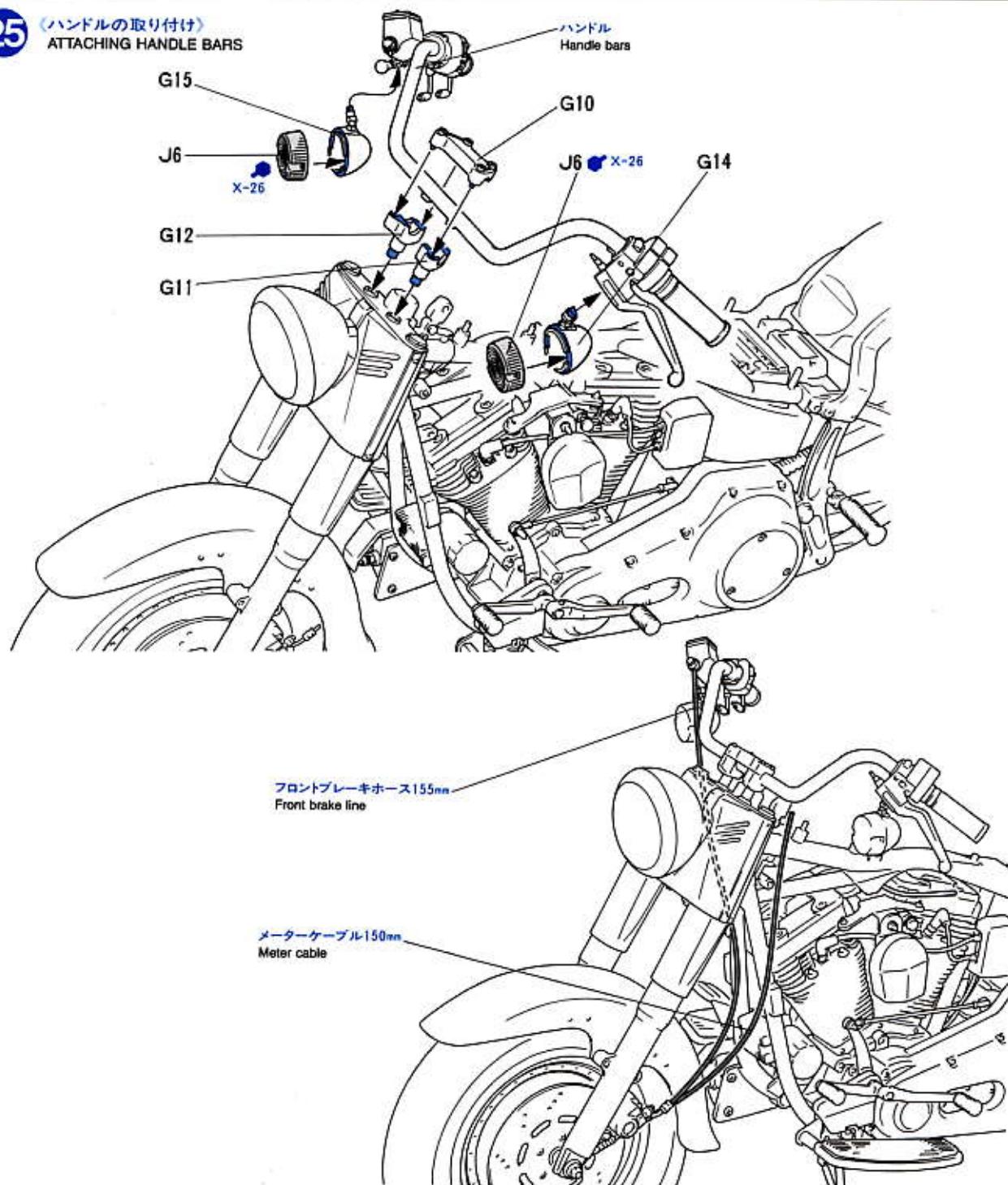
23

《フロントフォークの取り付け》
ATTACHING FRONT FORK

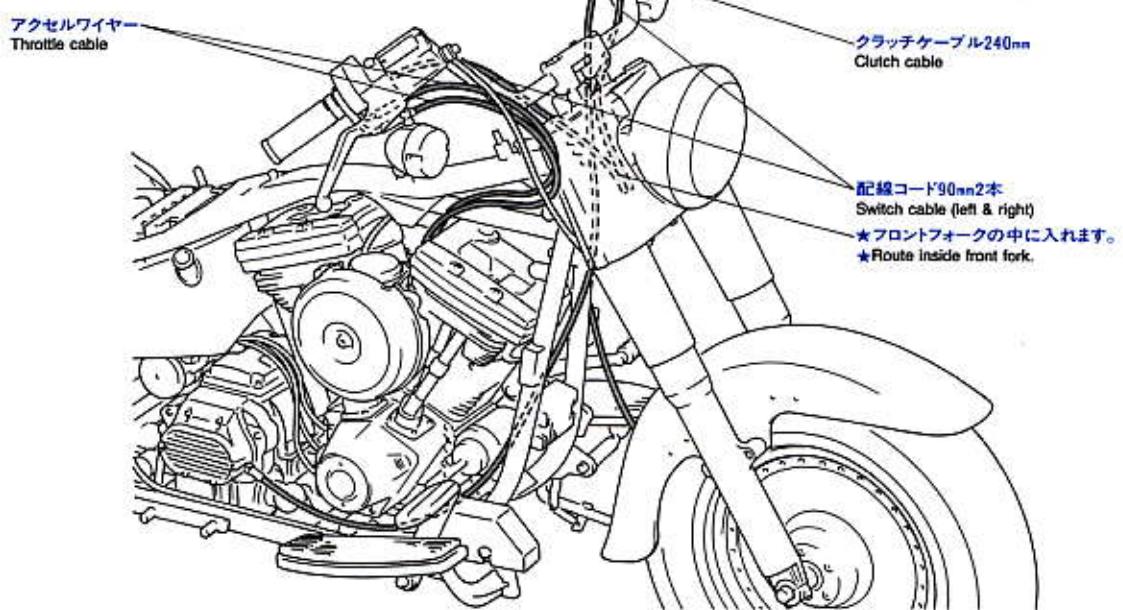
24

(ハンドルのくみたて)
HANDLE BARS

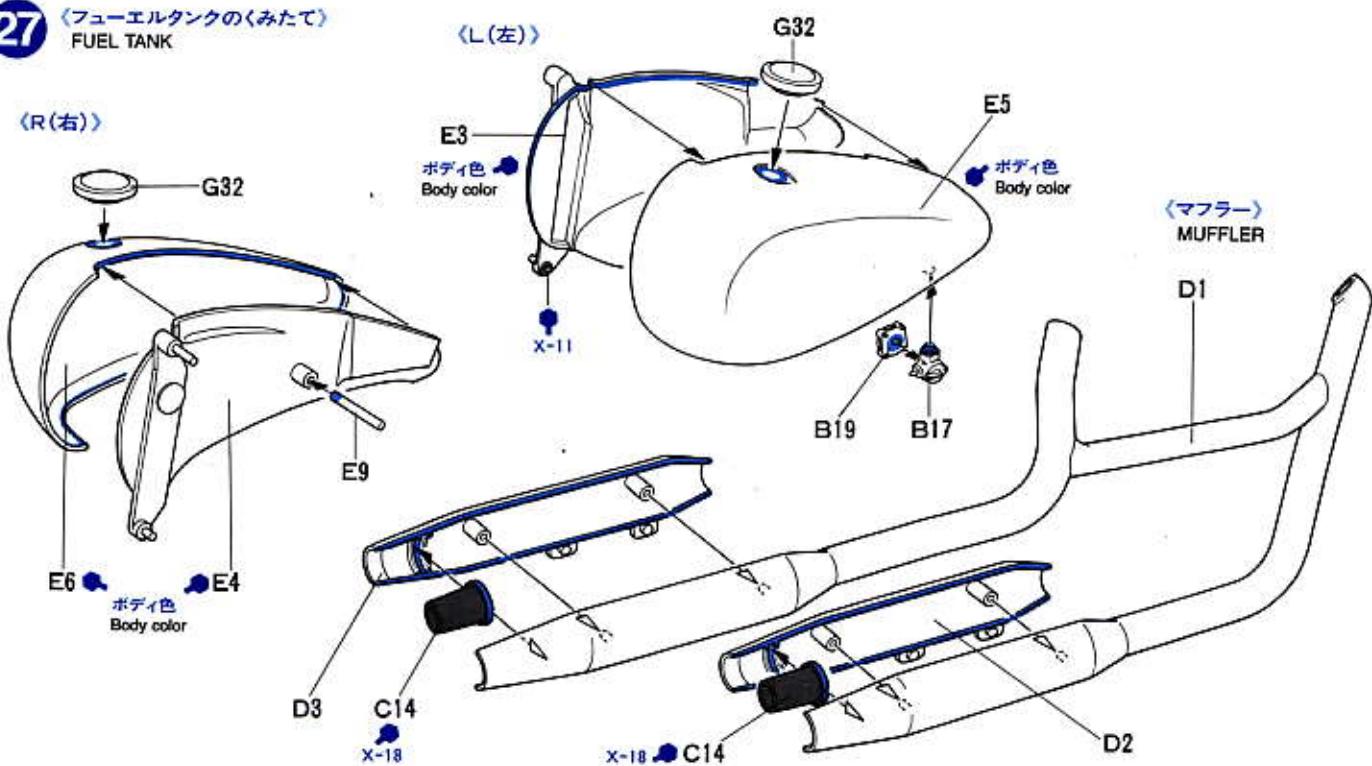
25

(ハンドルの取り付け)
ATTACHING HANDLE BARS

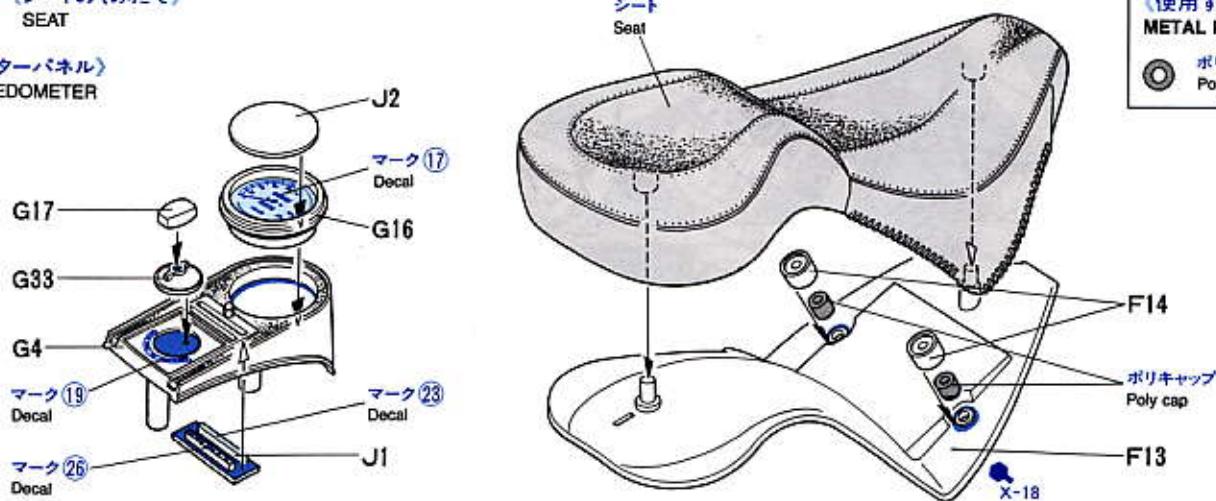
26

《パイピング》
TUBING

27

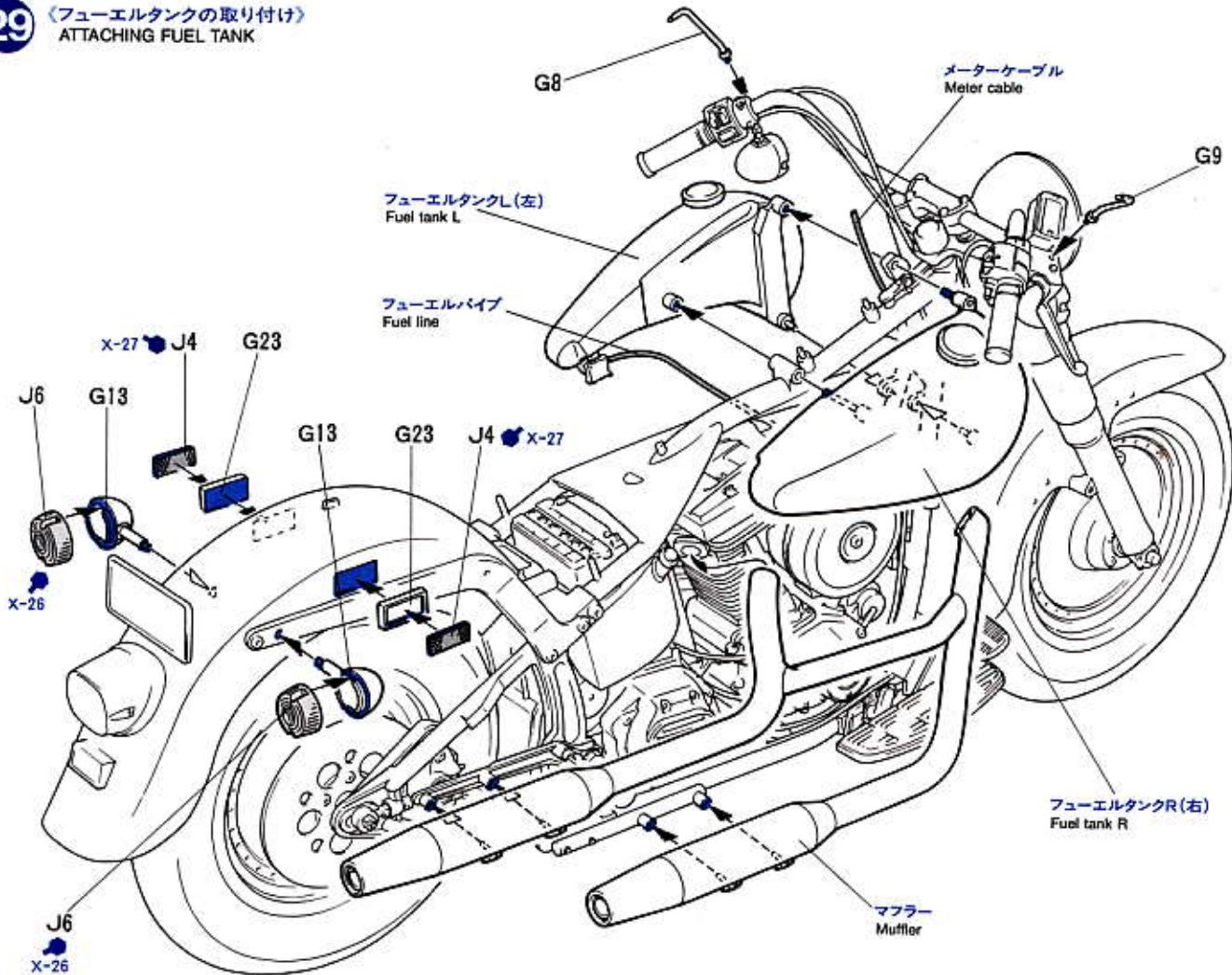
《フューエルタンクのくみたて》
FUEL TANK

28

《シートのくみたて》
SEAT《メーターパネル》
SPEEDOMETER《使用する小物》
METAL PARTS USEDポリキャップ…×2
Poly cap

29

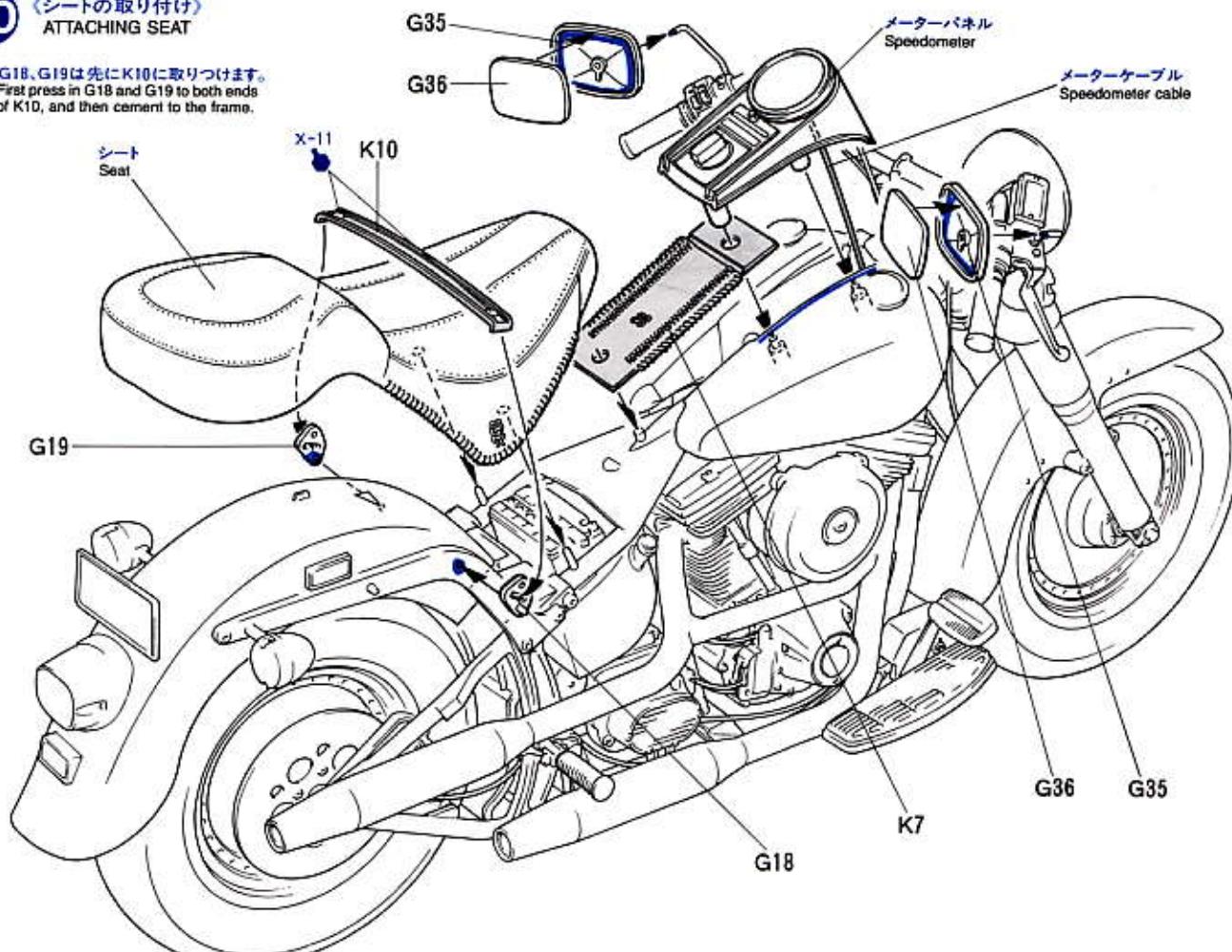
《フューエルタンクの取り付け》
ATTACHING FUEL TANK



30

《シートの取り付け》
ATTACHING SEAT

★ G18、G19は先にK10に取りつけます。
★ First press in G18 and G19 to both ends of K10, and then cement to the frame.



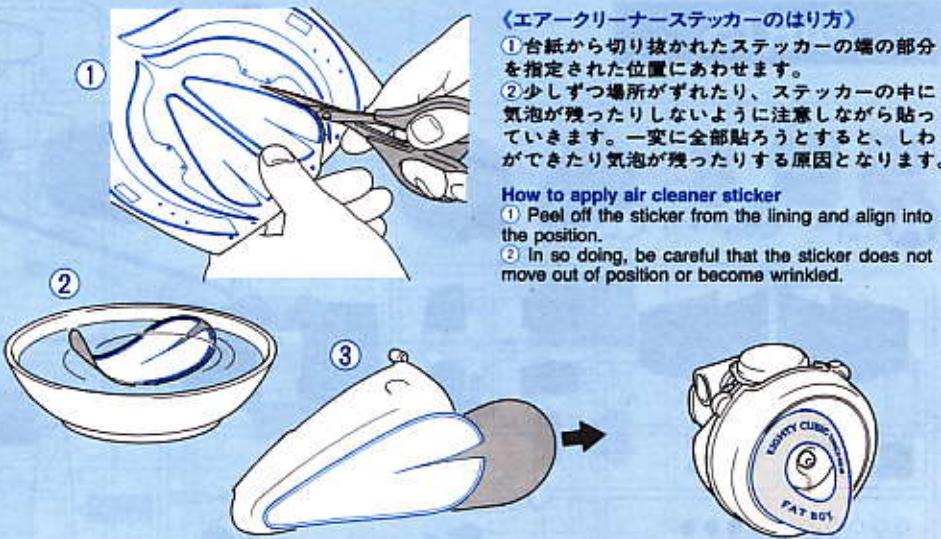
APPLYING DECALS

(スライドマークのはり方)

- ①はりたいマークをハサミで切りぬきます。
- ②マークをぬるま湯に10秒ほどひたしてからタオル等の上におきます。
- ③台紙のはしを手でもち、貼る所にマークをスライドさせてモデルに移して下さい。
- ④指に少し水をつけてマークをぬらしながら、正しい位置にすらします。
- ⑤やわらかい布でマーク内側の気泡をおし出しながら、おしつけるようにして水分をとります。

DECAL APPLICATION

- ① Cut off decal from sheet.
- ② Dip the decal in tepid water for about 10 sec. and place on a clean cloth.
- ③ Hold the backing sheet edge and slide decal onto the model.
- ④ Move decal into position by wetting decal with finger.
- ⑤ Press decal gently down with a soft cloth until excess water and air bubbles are gone.

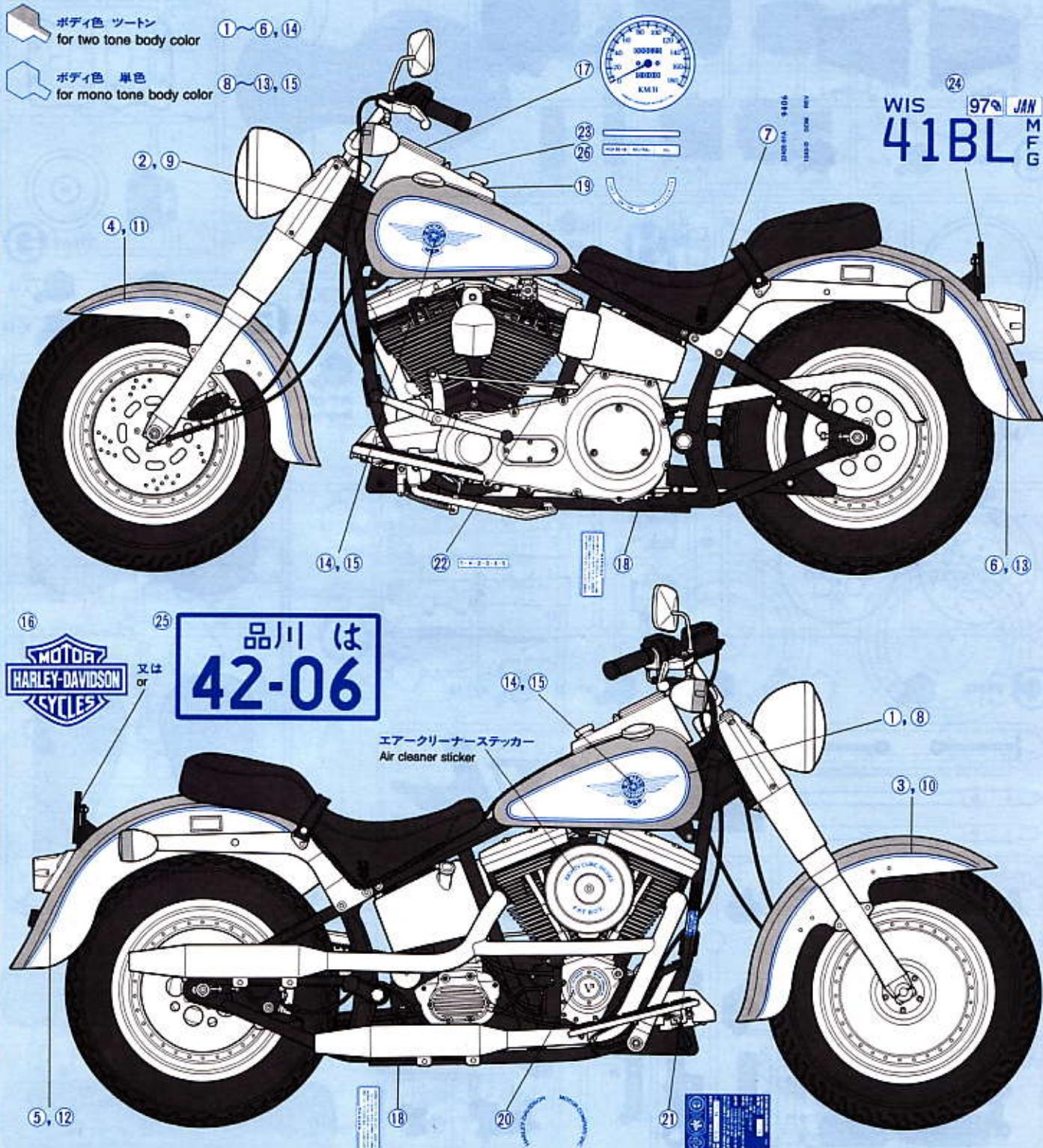


(エアークリーナーステッカーのはり方)

- ①合紙から切り抜かれたステッカーの端の部分を指定された位置にあわせます。
- ②少しずつ場所がずれたり、ステッカーの中に気泡が残ったりしないように注意しながら貼っていきます。一気に全部貼ろうとすると、しわができるたり気泡が残ったりする原因となります。

How to apply air cleaner sticker

- ① Peel off the sticker from the lining and align into the position.
- ② In so doing, be careful that the sticker does not move out of position or become wrinkled.



PARTS

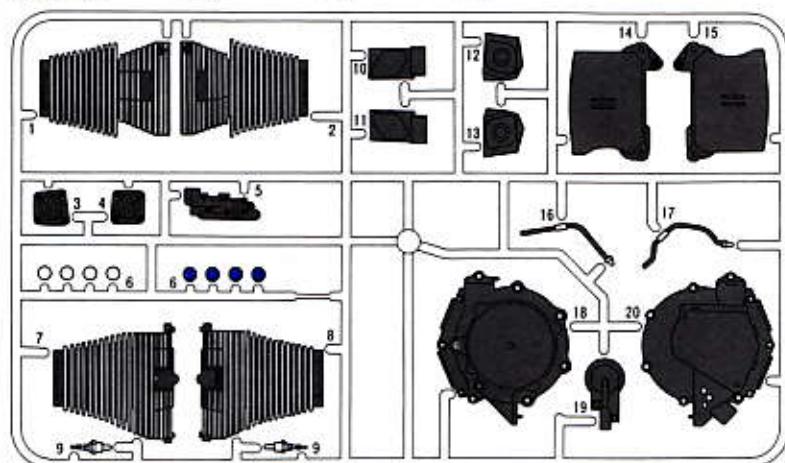
D PARTS × 1

A

PARTS × 1

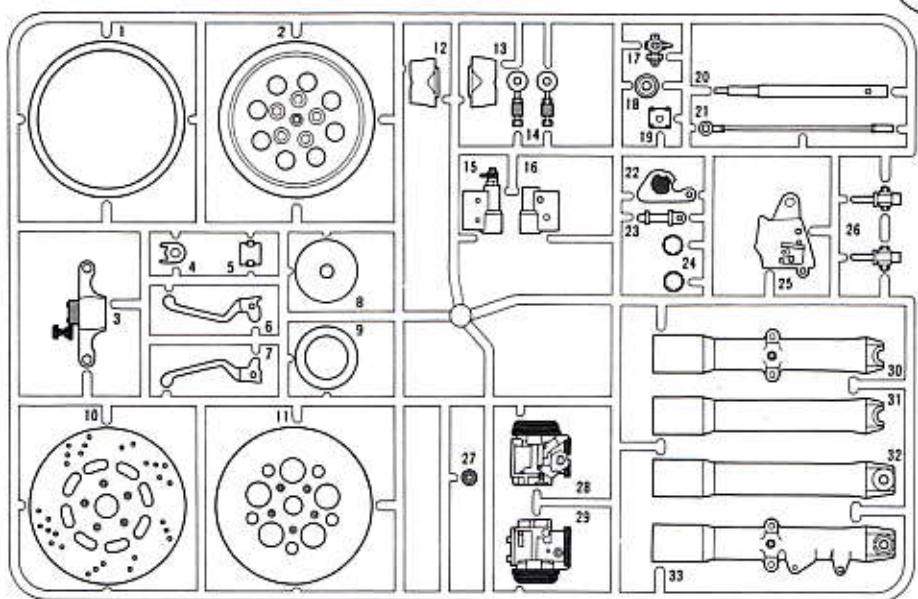


不要部品
Not used.



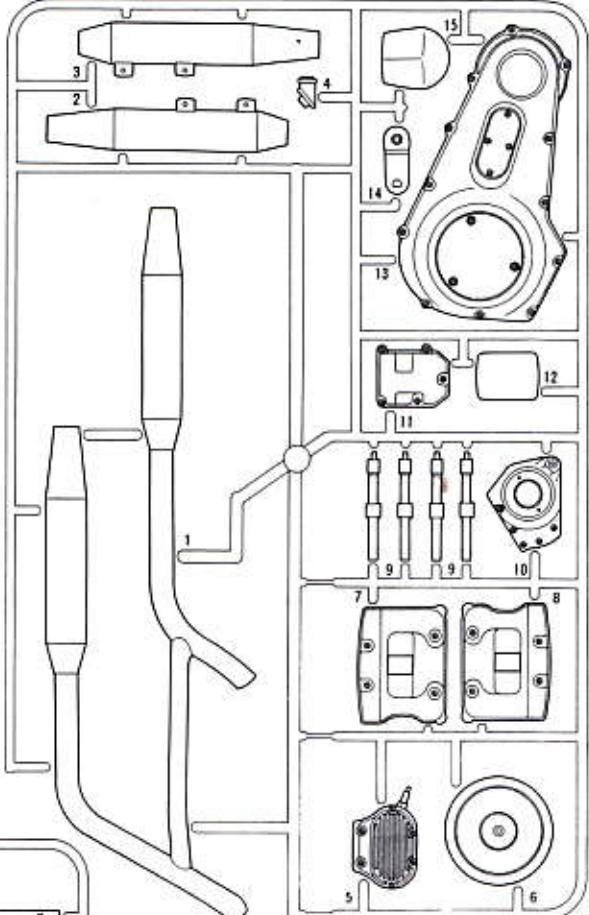
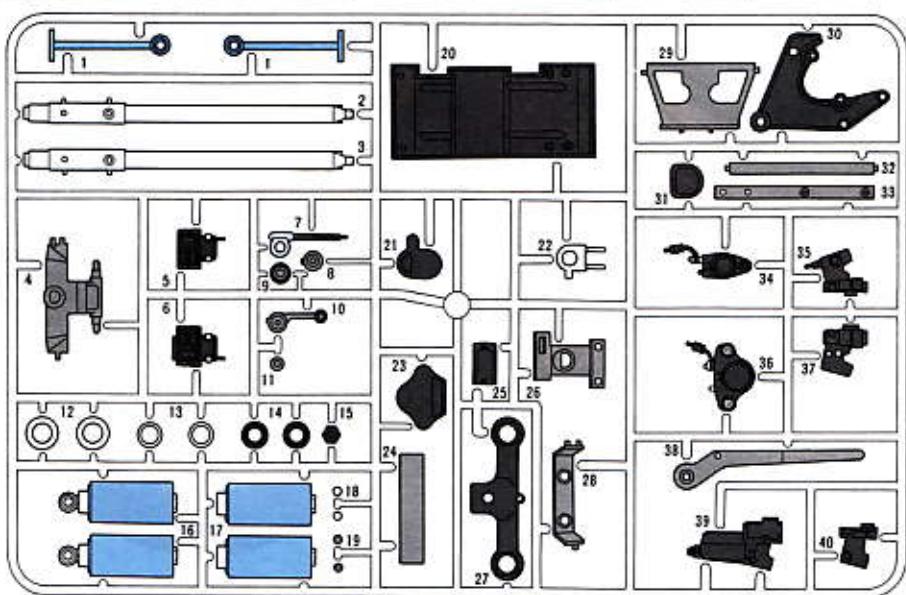
B

PARTS × 1



C

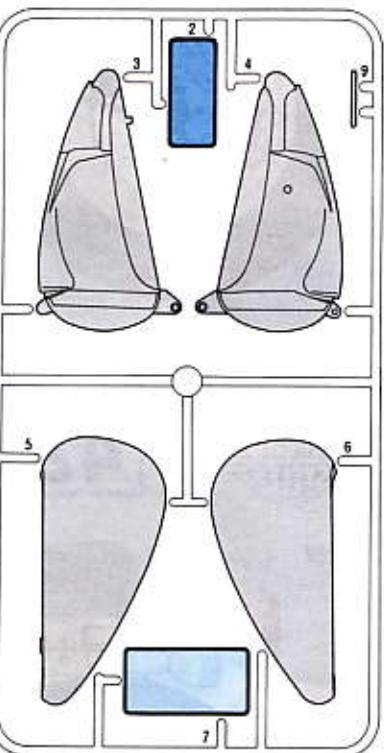
PARTS × 1



E PARTS × 1



ボディ色
Body color



フロントフェンダー
Front fender

ボディ色
Body color

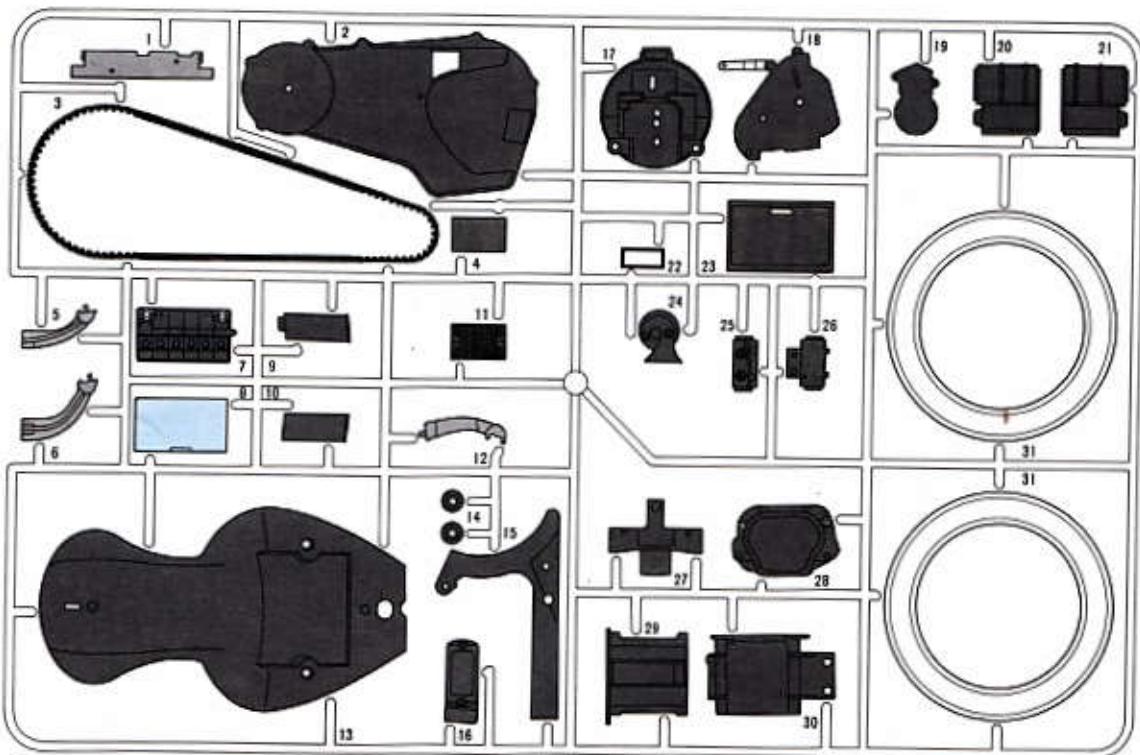
リヤフェンダー
Rear fender



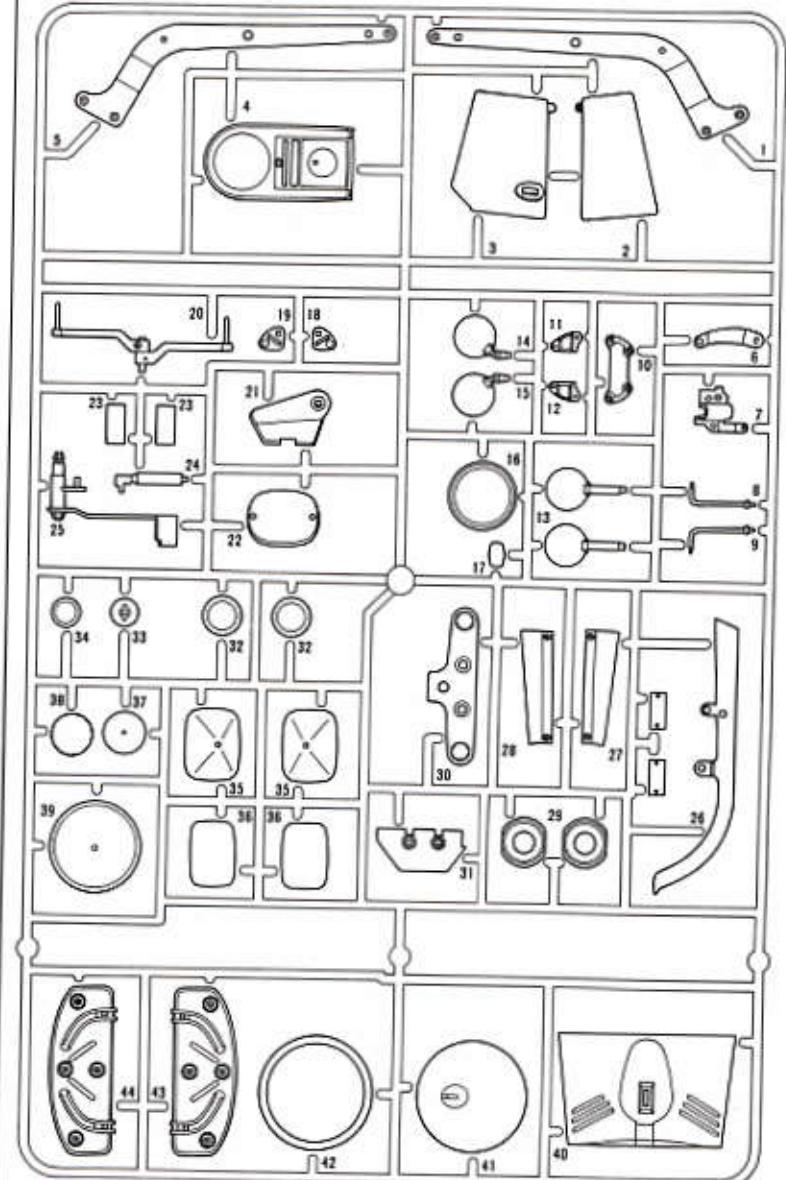
PARTS

F PARTS •×1

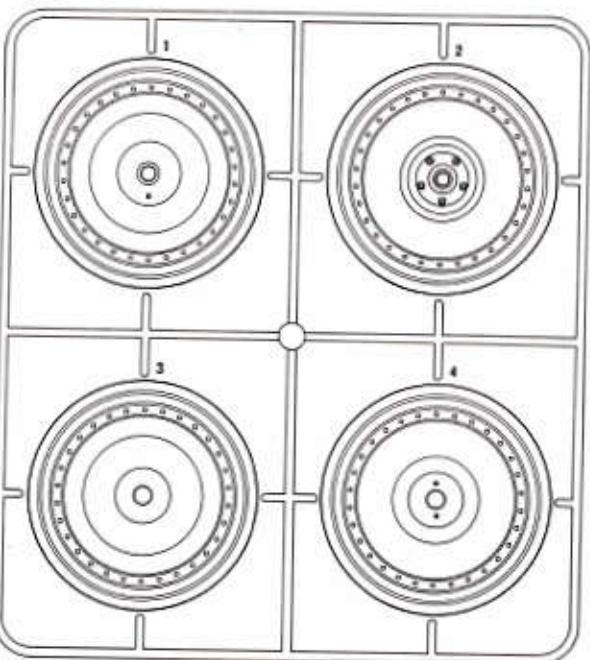
- X-1
- X-2
- X-8
- X-II
- X-18
- XF-1



G PARTS •×1

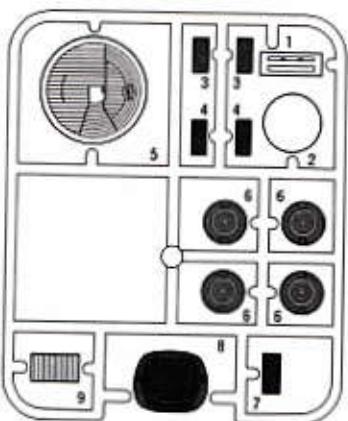


H PARTS •×1

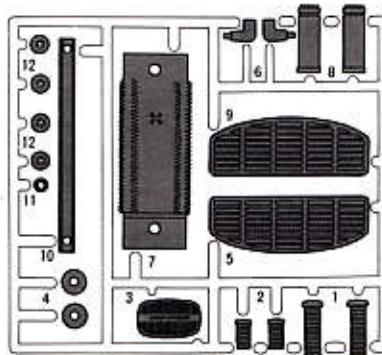


J PARTS •×1

- X-26
- X-27



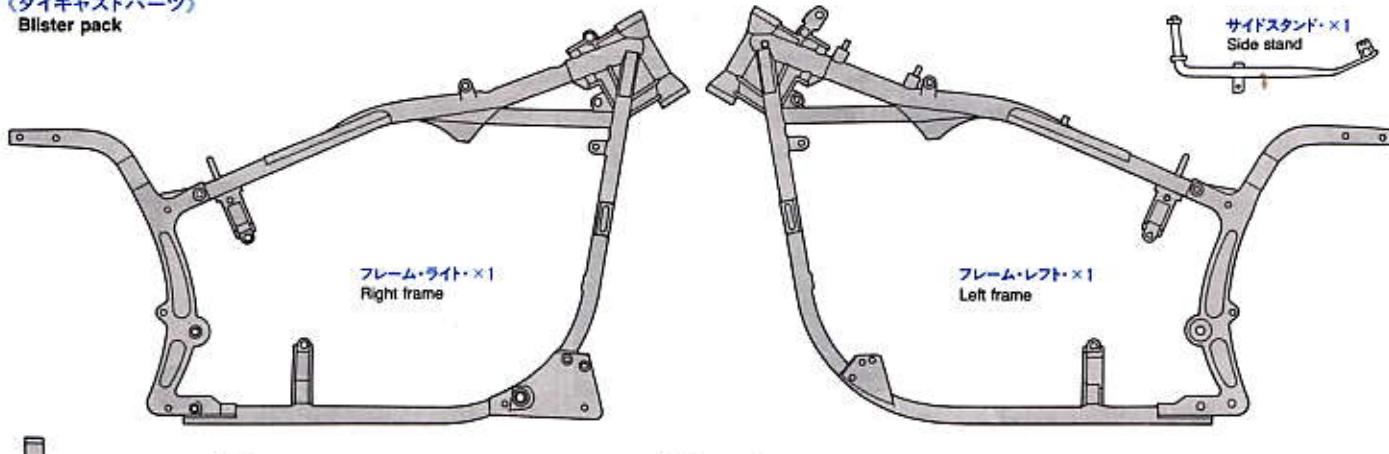
PARTS



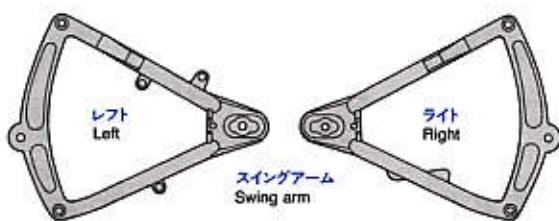
シート
Seat



《ダイキャストパーツ》
Bilster pack



サイドスタンド・×1
Side stand



フレーム・センター・×1
Center frame

フレーム・ライト・×1
Right frame

フレーム・ LEFT ・×1
Left frame

ライト
Right

スイングアーム
Swing arm

リヤタイヤ(太)・×1
Rear tire (wide)



フロントタイヤ(細)・×1
Front tire (narrow)



《金具袋詰》
METAL PARTS BAG



ハンドルバー・×1
Handle bars



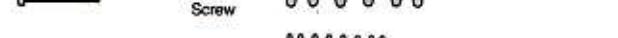
2×6mm九ビス・×3
Screw



2×52mm内ネジシャフト・×1
Threaded shaft



リヤコイルスプリング・×2
Rear coil spring



フロントコイルスプリング・×2
Front coil spring



ブレーキペダルスプリング・×1
Brake pedal spring



サイドスタンドスプリング・×1
Side stand spring



両面テープ・×1
Double-sided tape



ビニールパイプ・×1
Vinyl tubing



ドライバー・×1
Screwdriver

*部品請求にはこのカードが必要です。

HARLEY-DAVIDSON
FLSTF FAT BOY

1/6 オートバイシリーズ NO.29

ハーレーダビッドソン。
FLSTF フットボーン。



Aバーツ(エンジン).....	750円	ドライバー	320円
日バーツ(ブレーキディスク).....	870円	説明図	500円
Cバーツ(ブレーキキャリパー).....	800円	バーツの価格は予告なく変更することがあります。	
Dバーツ(マフラー).....	880円		
Eバーツ(タンク).....	700円		
Fバーツ(ドライブベルト).....	1,050円		
Gバーツ(ステップボード).....	1,250円		
Hバーツ(ホイール).....	700円		
Jバーツ(透明).....	470円		
Kバーツ(シート).....	600円		
フェンダー(フロント、リヤ).....	600円		
タイヤ袋詰	650円		
マークⒶ	370円		
マークⒷ	280円		
ダイキャスト式	2,200円		
フレーム・レフト	800円		
フレーム・ライト	800円		
フレーム・センター	350円		
スイングアーム・レフト	500円		
スイングアーム・ライト	500円		
サイドスタンド	350円		
金具袋詰	800円		
ハンドルバー	550円		
ビス袋詰	240円		
スプリング袋詰	260円		
エーカーリーナーステッカー	220円		
ビニールパイプ	170円		
ポリキャップ	100円		

住所

電話 () -

名前

*ITEM 16029

For Japanese use only



田宮模型
静岡市恩田原3-7 T422

(お問い合わせ電話番号) 静岡 054-283-0003
東京 03-3899-3765 (静岡へ自動転送)
営業時間 平日(月~金曜日)8:00~17:00 祝日 休み
(郵便振替のご利用方法) 郵便局の払込用紙の通信欄に、このカードを参考にITEM番号、スケール、製品名、部品名、数量を必ずご記入下さい。払込人住所欄には電話番号もお書きいただき、口座番号: 00810-9-1118、加入者名、株田宮模型でお払い込み下さい。